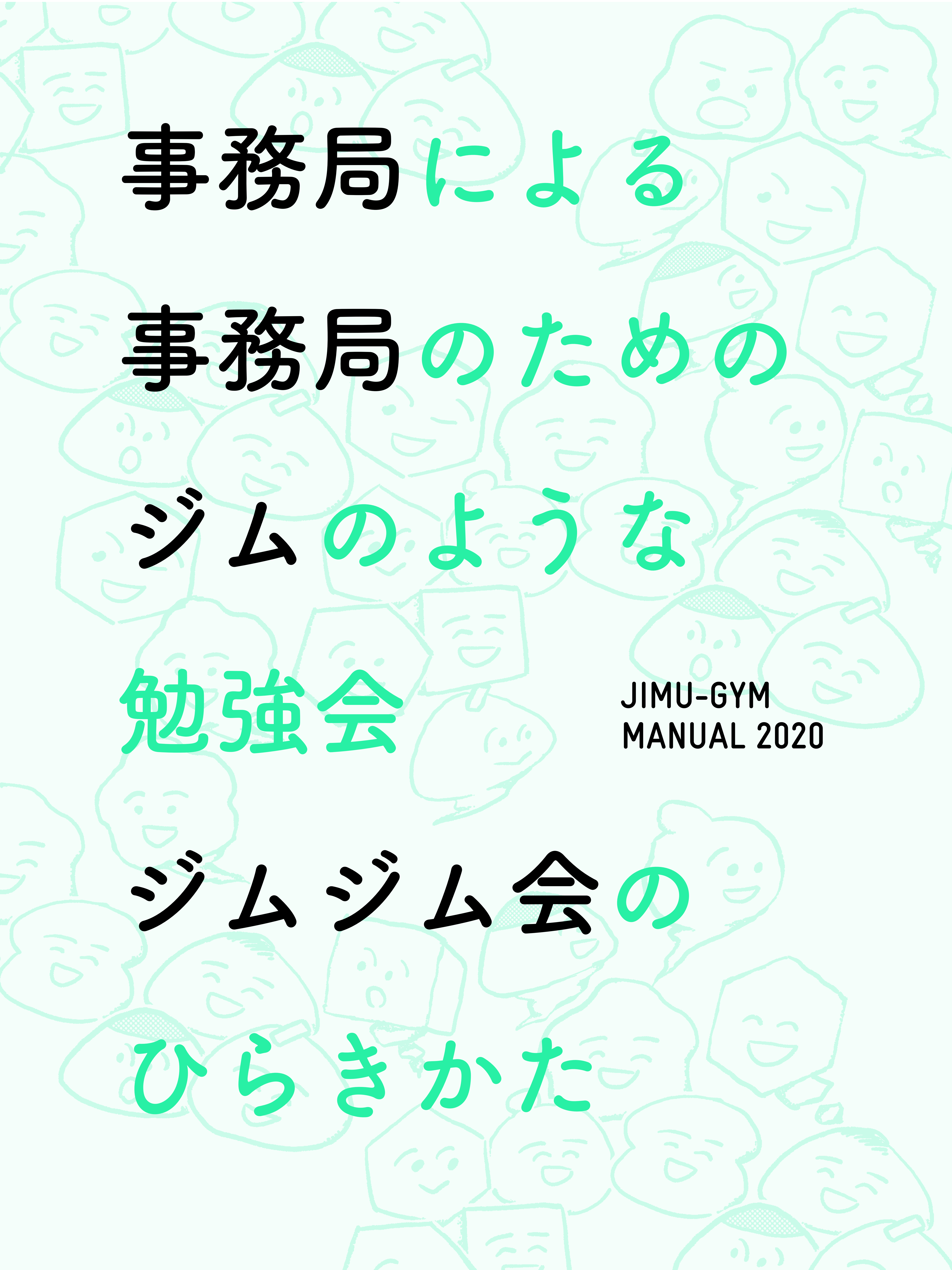




事務局による 事務局のための ジムのような 勉強会

JIMU-GYM
MANUAL 2020

ジムジム会の ひらきかた

はじめに

あなたの活動が抱える悩みを解決してくれるのは、有名な先生や分厚いハウツー本ではなくて、自分達と似たような活動をする「おとなりさん」かもしれません。まずは似た仲間を見つけて声をかけ、一緒に考える勉強会をひらくのはどうでしょう？

この読み物は、そんなアイデアを共有するために生まれました。「東京アートポイント計画」という都内各地でアートプロジェクトを実施する文化事業の中で生まれた、とある勉強会で実際にあった話をもとにしています。

勉強会の名は「ジムジム会」。正式名称は「事務局による事務局のためのジムのような勉強会」といいます。このちょっと変わった名前の集まりは、地域でアートプロジェクト運営をする小さなチーム（＝事務局）を励まし、助け、連携させていくことに一役買いました。2019年にはじまり、2021年現在も続いています。

ジムジム会とは何なのか。なぜはじまり、どのように開催し、どんな効果があるのか。アートプロジェクトの現場を支えるすべての事務局におすすめしたい「ジムジム会のひらきかた」を、架空のまち「東京都丸々区だんご島町」で活動する「だんご島アート事務局」のメンバーが楽しくご案内します。それでは、はじまりはじまり。

こんな方におすすめです

- アートプロジェクトの運営をしている人
- 活動の中の悩みがなかなか解決しない人
- 互助会のような勉強会をひらきたい！と思っている人

もくじ

まんが

ジムジム会ができるまで

- A だんご島アート事務局
- B 今日もまた…
- C どうしたらいいのか
- D ジムジム会結成！

7つのポイント

ジムジム会のひらきかた

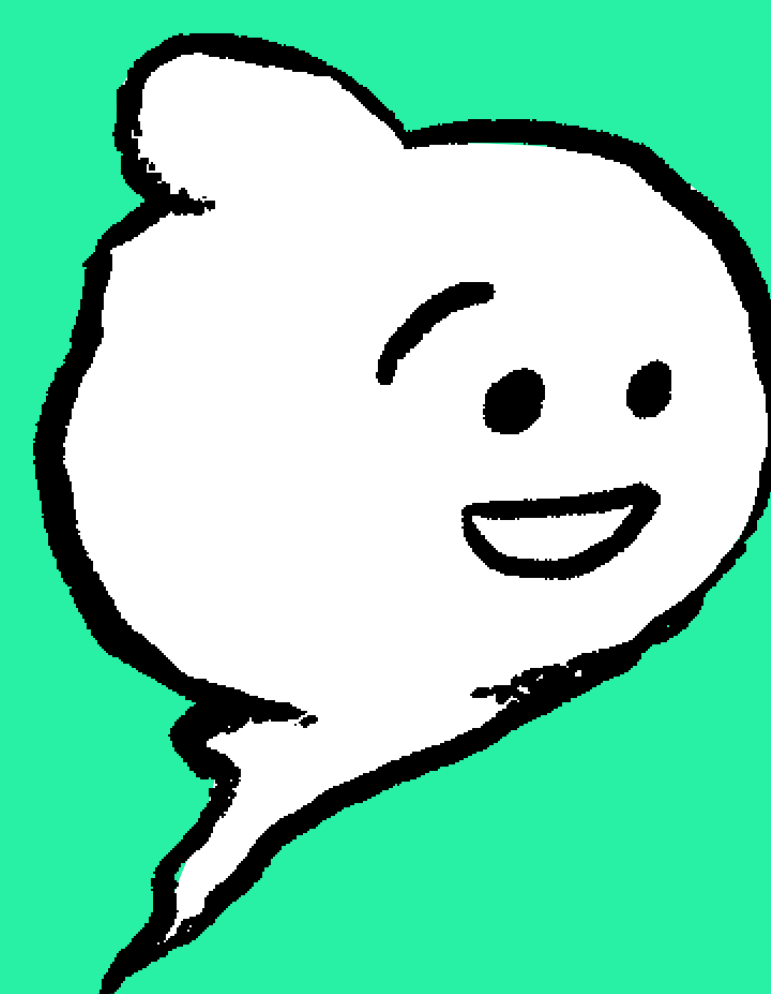
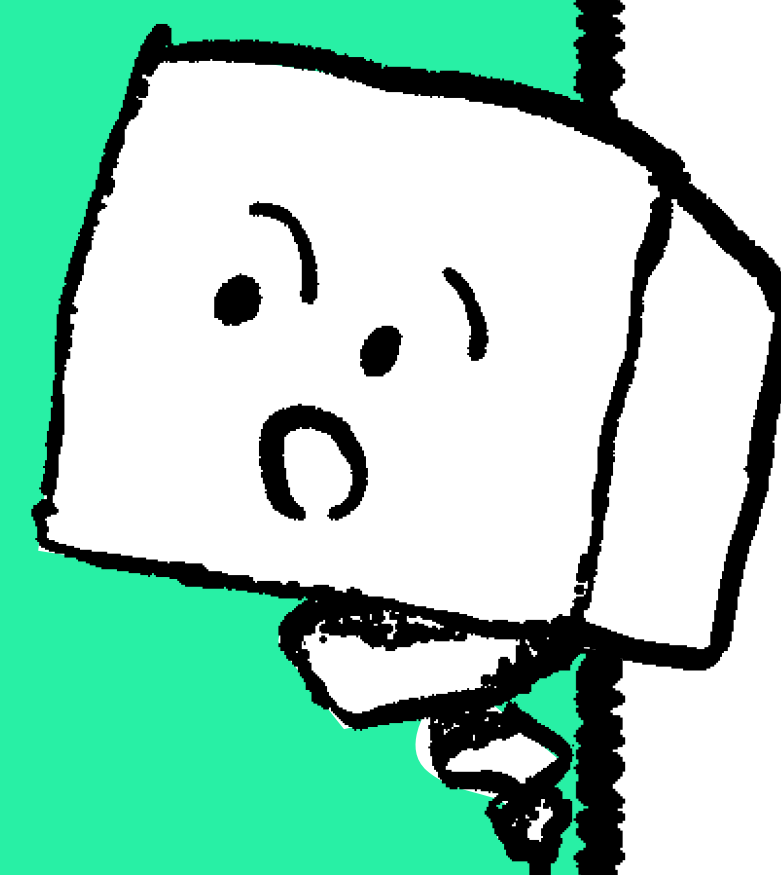
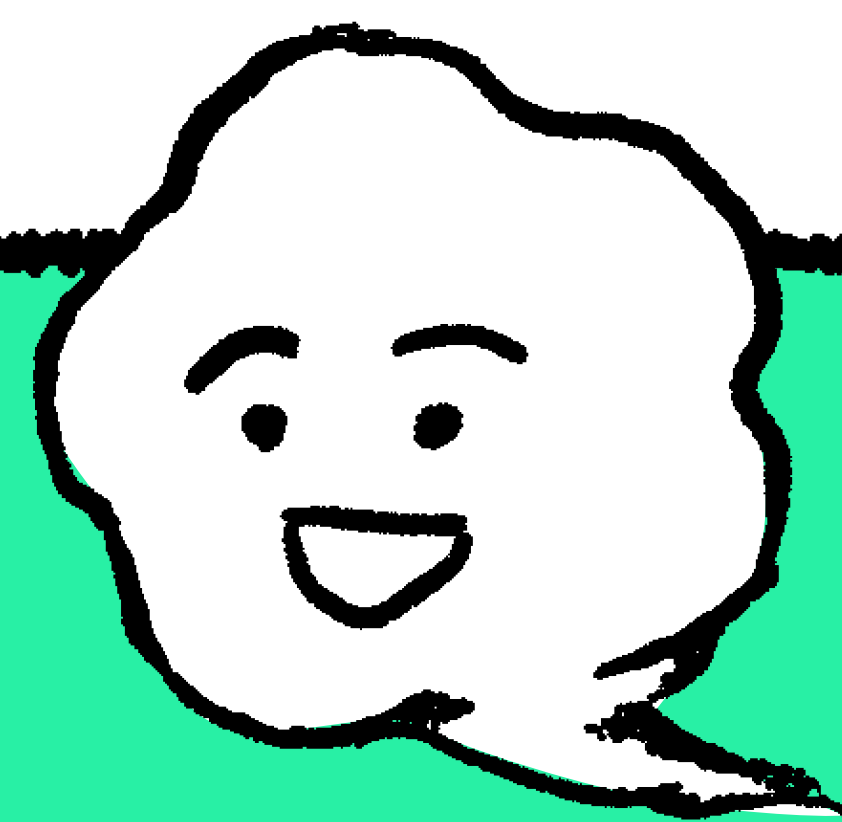
- 1 同じ悩みを持つチームで集まる
- 2 お互いが先生になる
- 3 定期参加の仕組みをつくる
- 4 リアルな声に耳をすます
- 5 マンネリに注意する
- 6 記録と共有は丁寧に
- 7 幹事が率先して楽しむ

まんが

ジムジム会ができたあと

- E 孤独じゃない
- F その後のジムジム会

ジムジム会 開催一覧



ジムジム会ができるまで

「だんご島アート事務局」

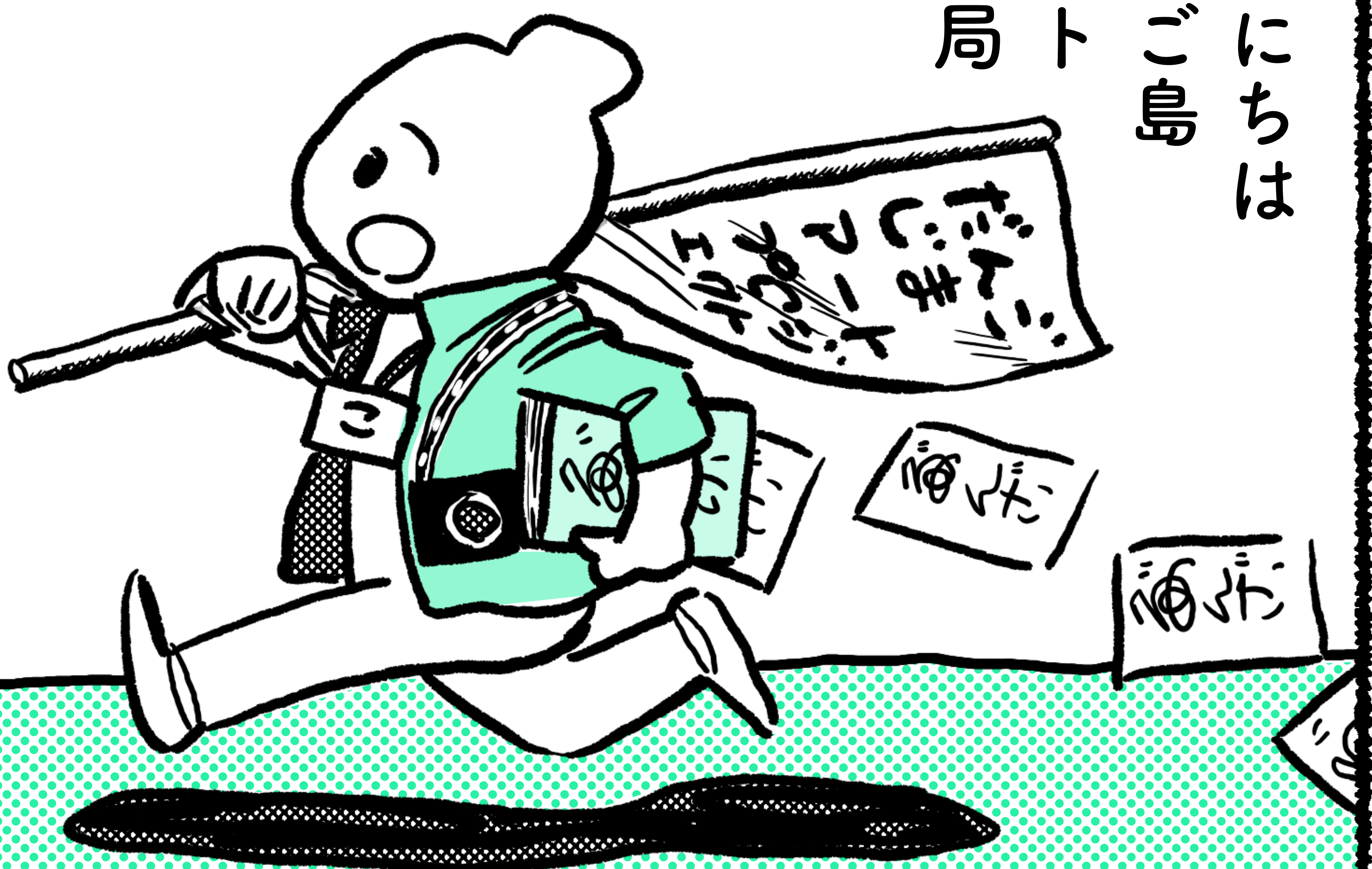
こんにちは
だんご島
アート事務局

企画担当です



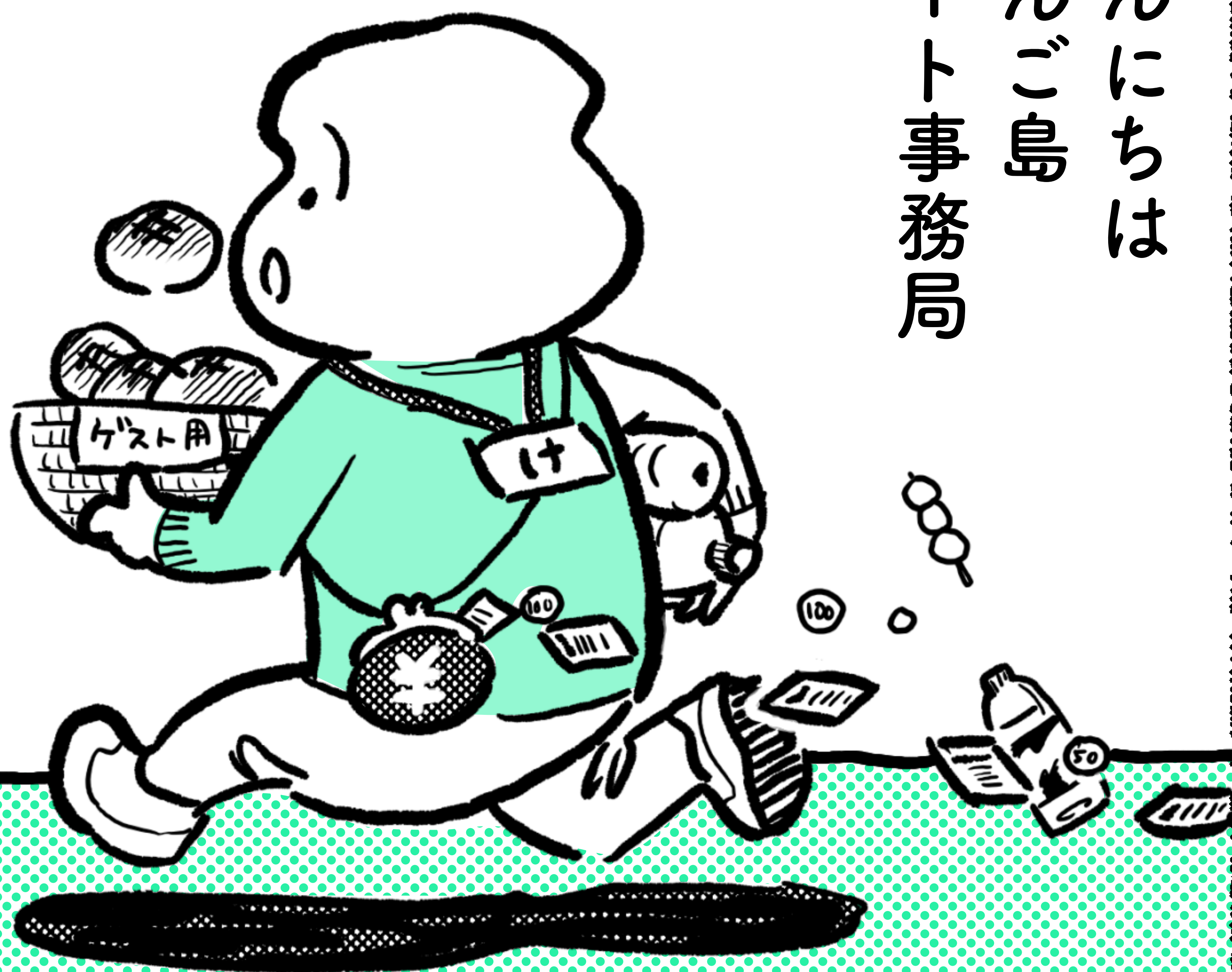
こんにちは
だんご島
アート
事務局

広報担当です



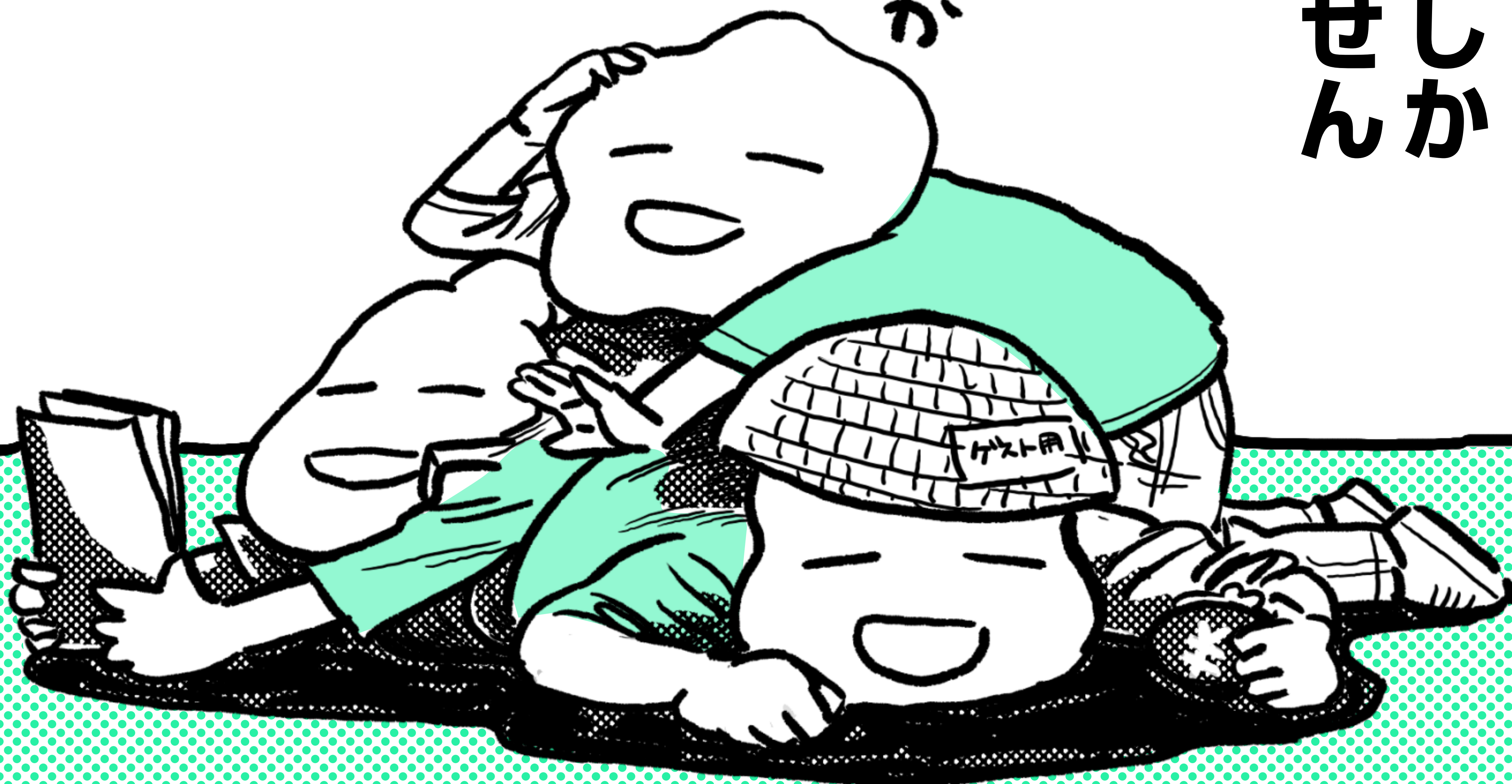
こんにちは
だんご島
アート事務局

経理担当です



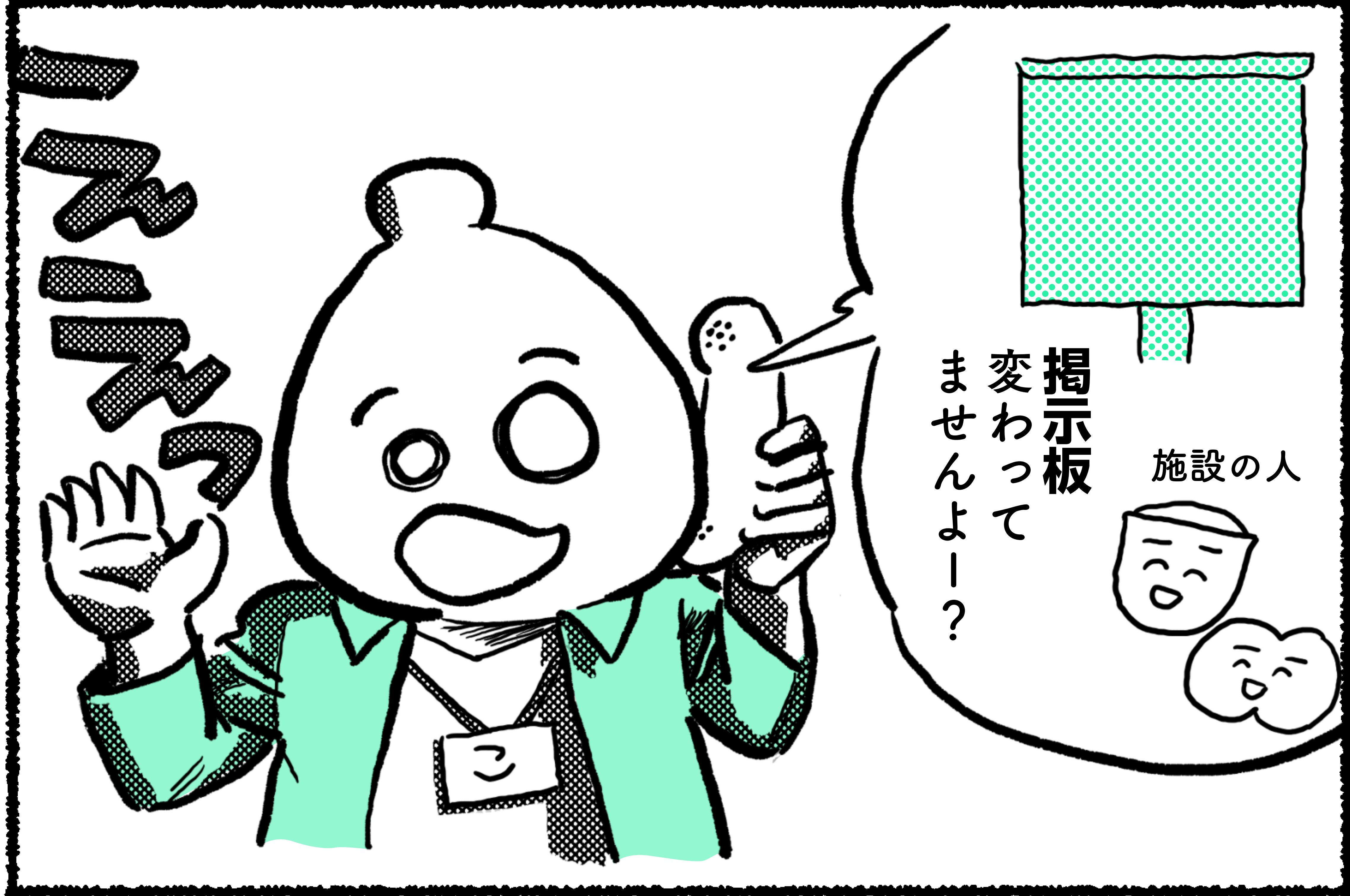
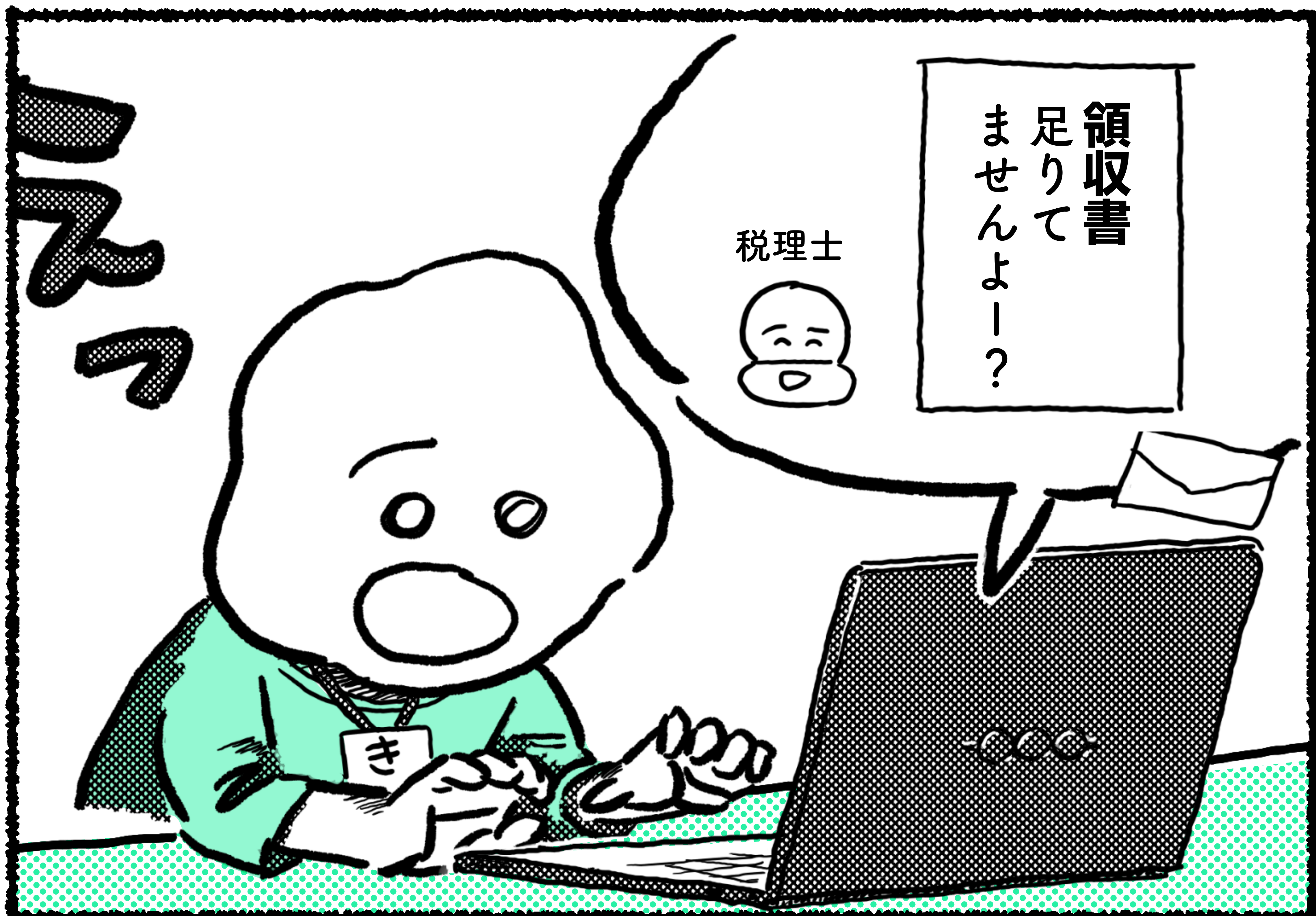
3人しか
いません

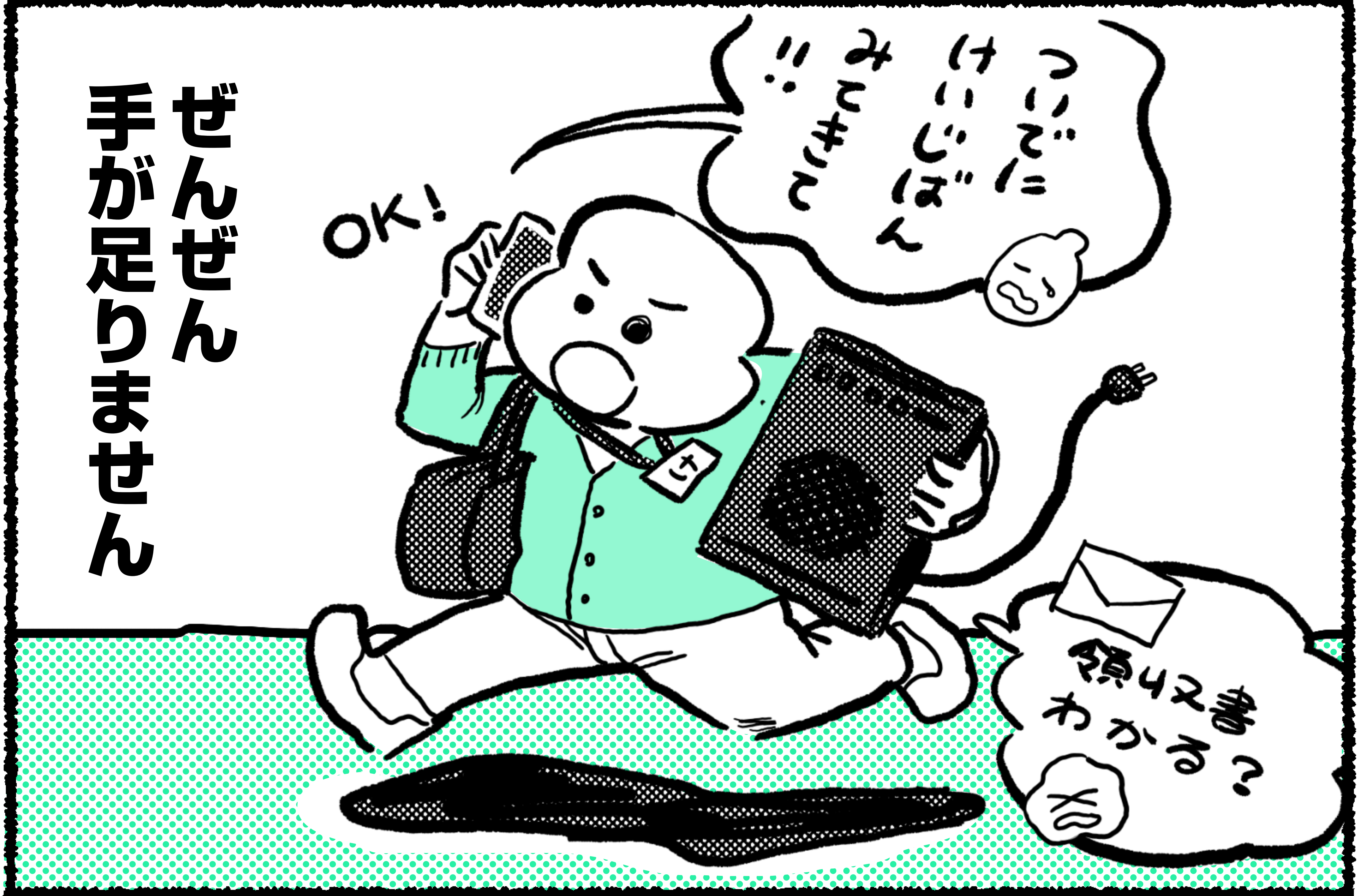
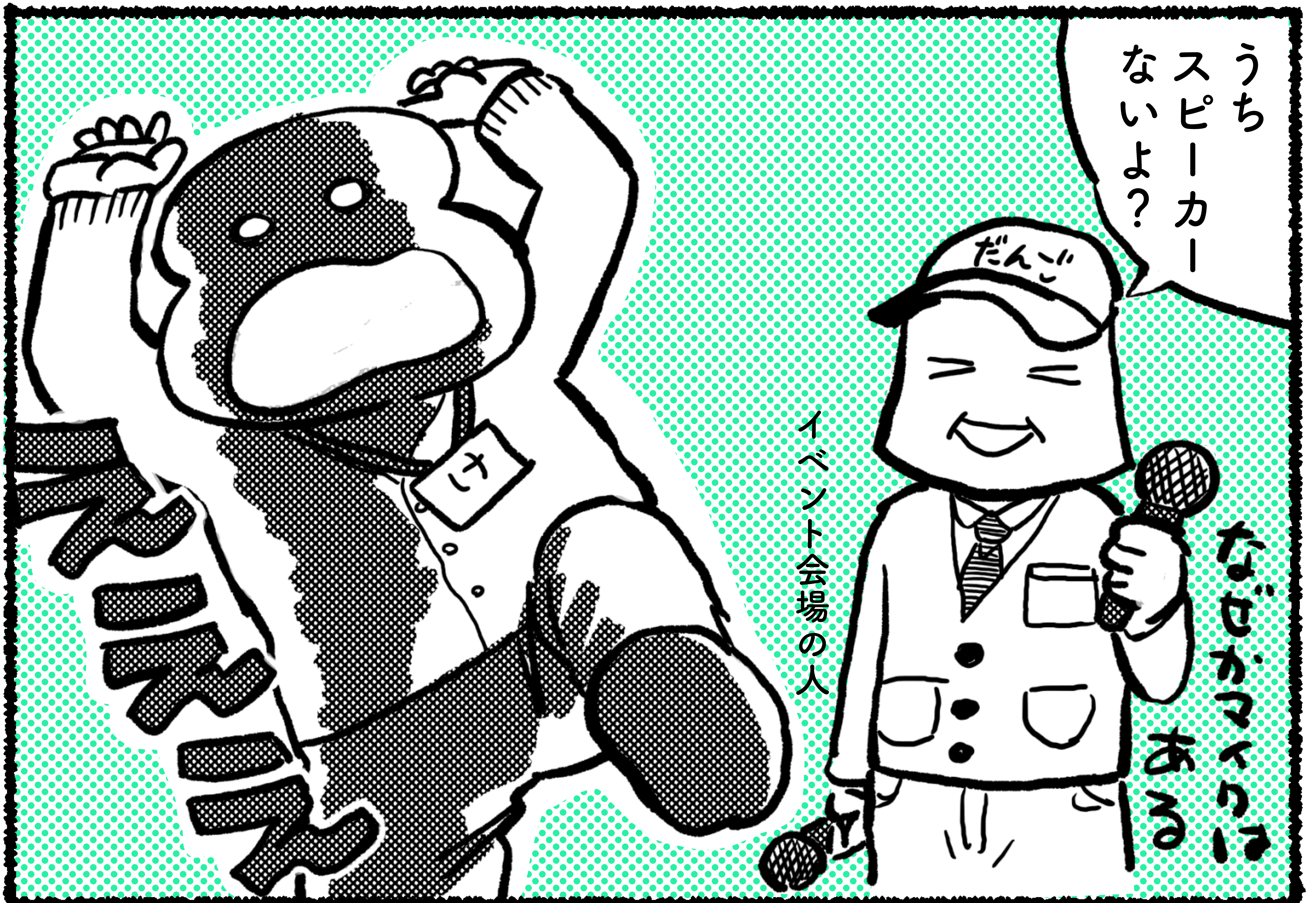
なんとか
おわた
ね...



アートプロジェクト事務局の最少人数はだいたい3人です

[今日もまた…]





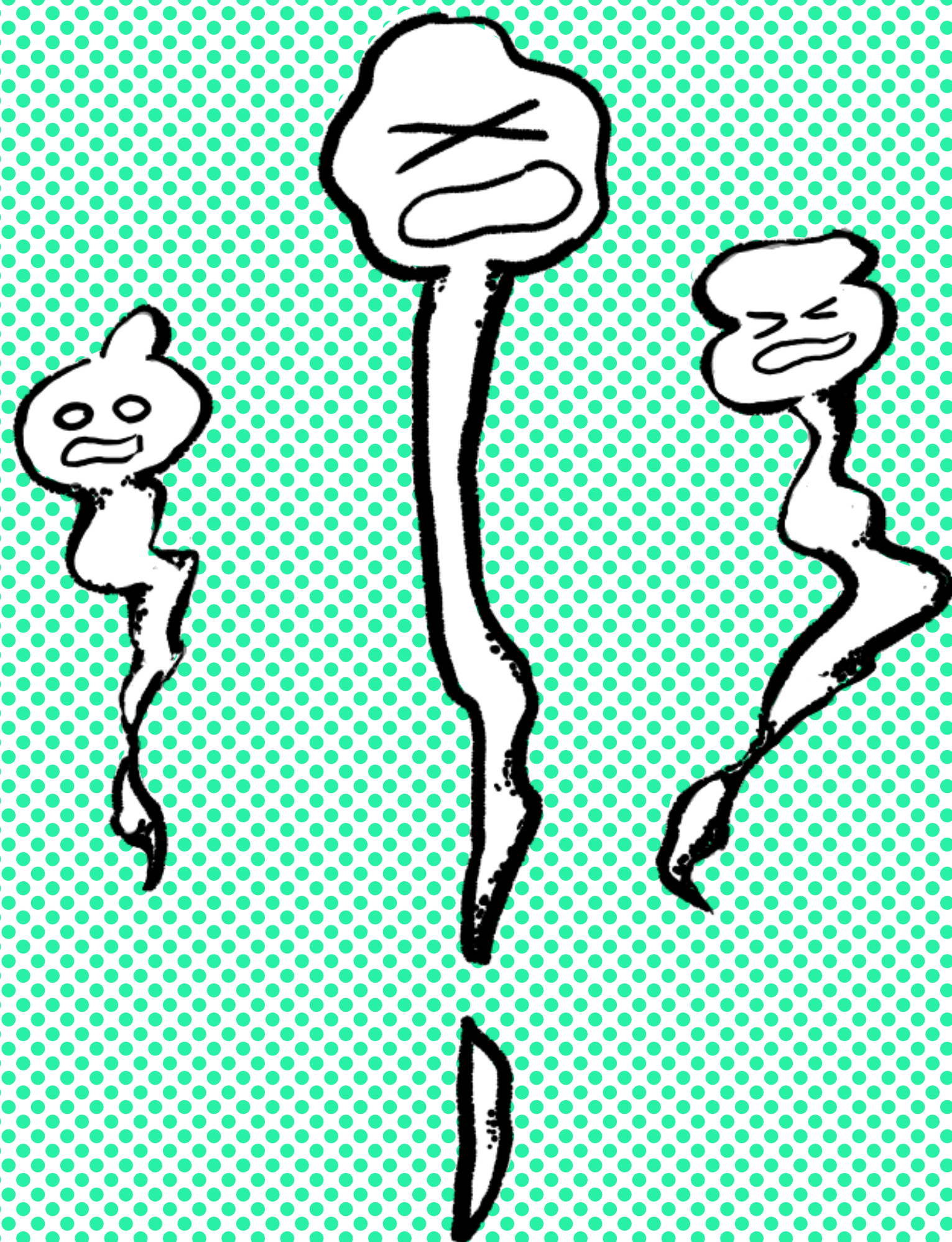
🗨️ 日々起こるトラブルに奔走するのも事務局の仕事です

「どうしたらいいのか」

このままでは
まずい……



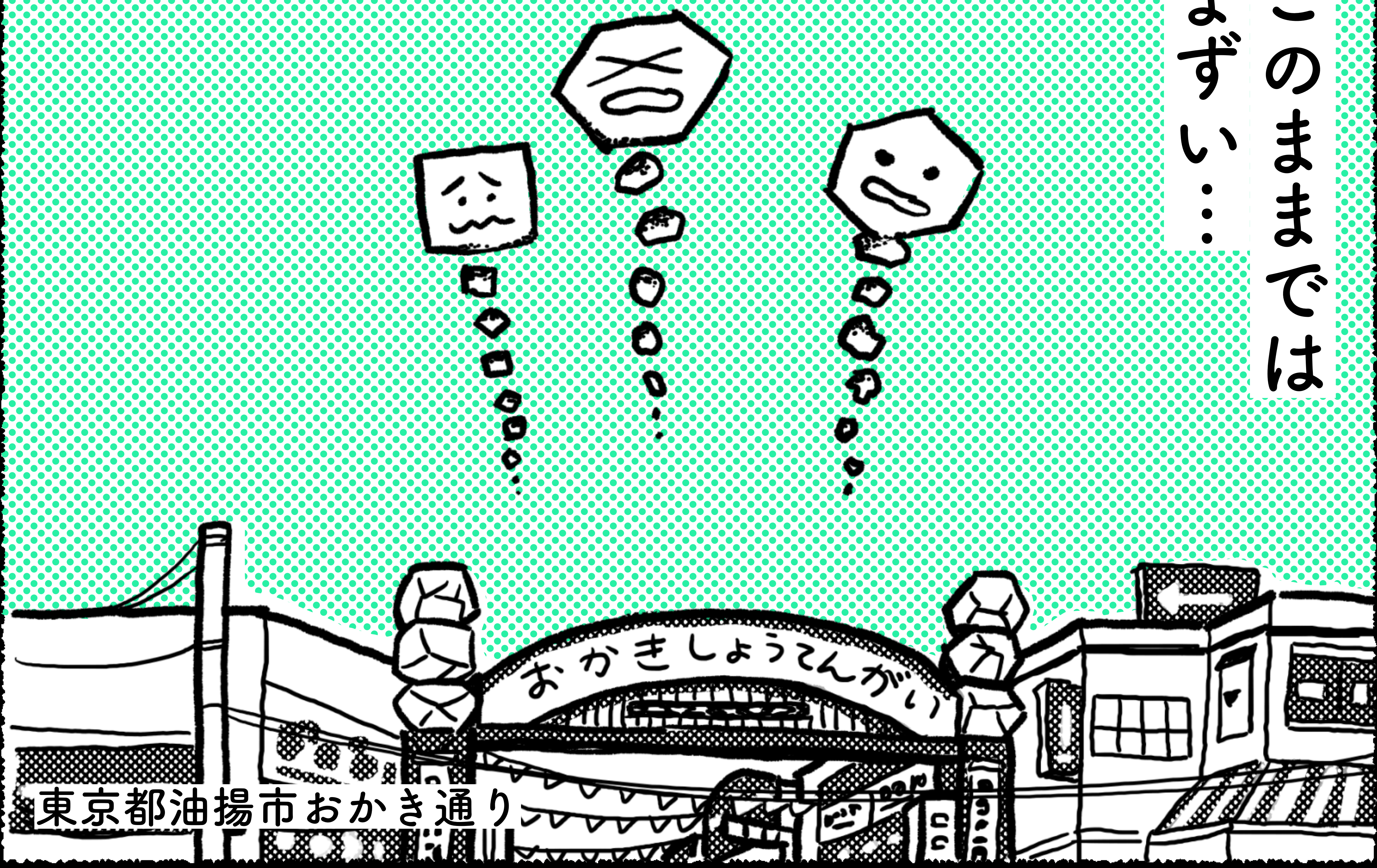
一方その頃……



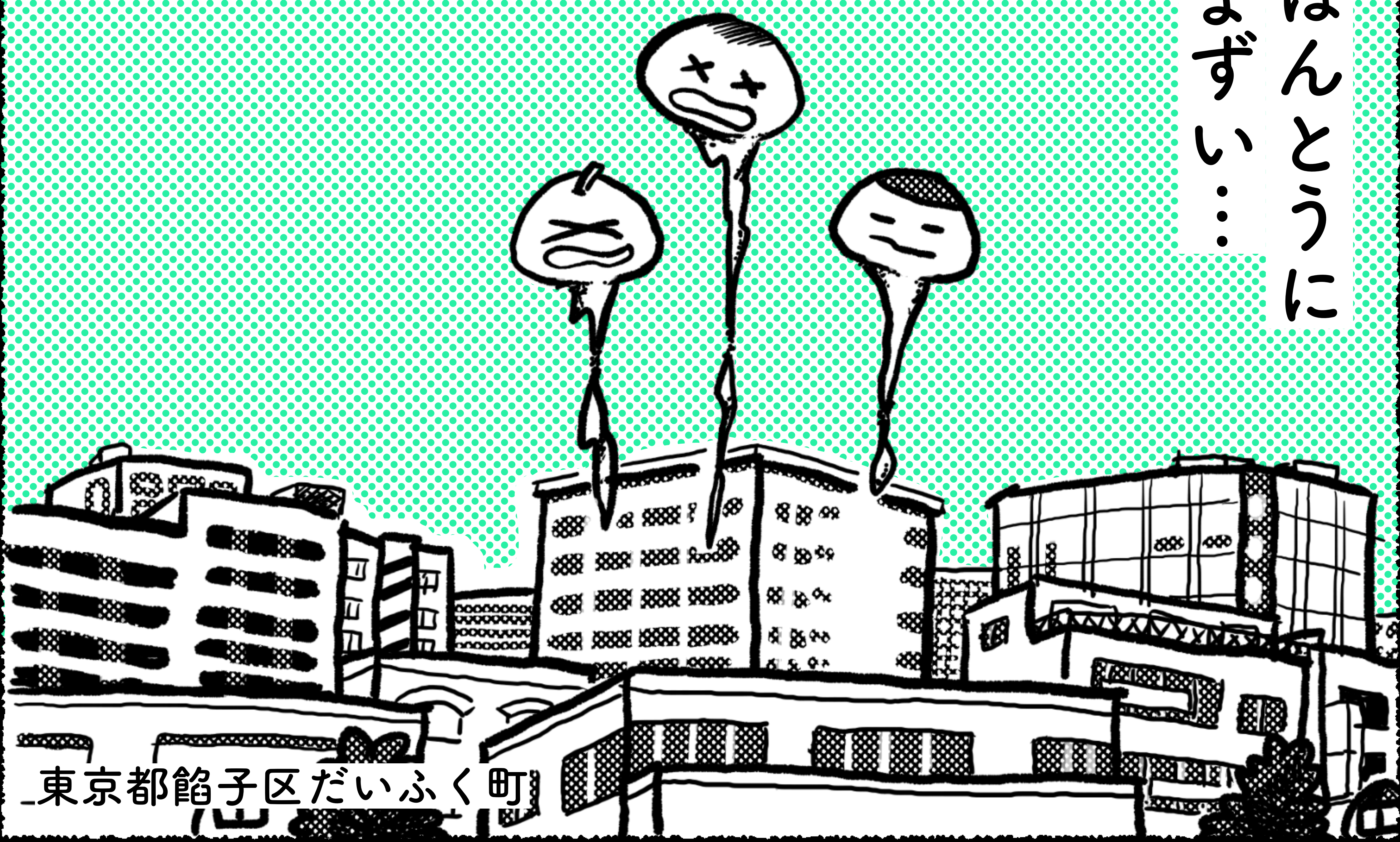
東京都丸々区だんご島



このままでは
まずい：

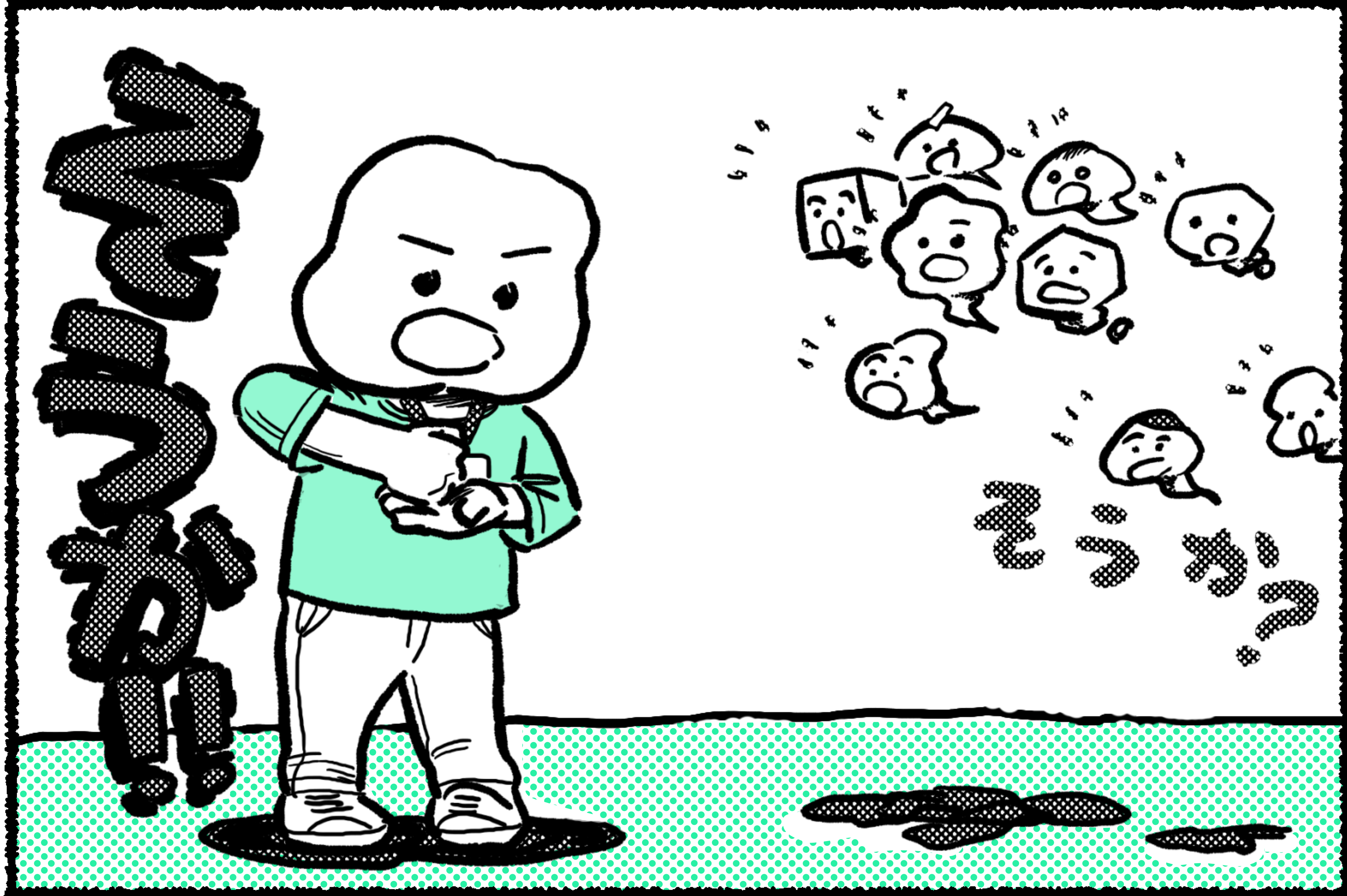
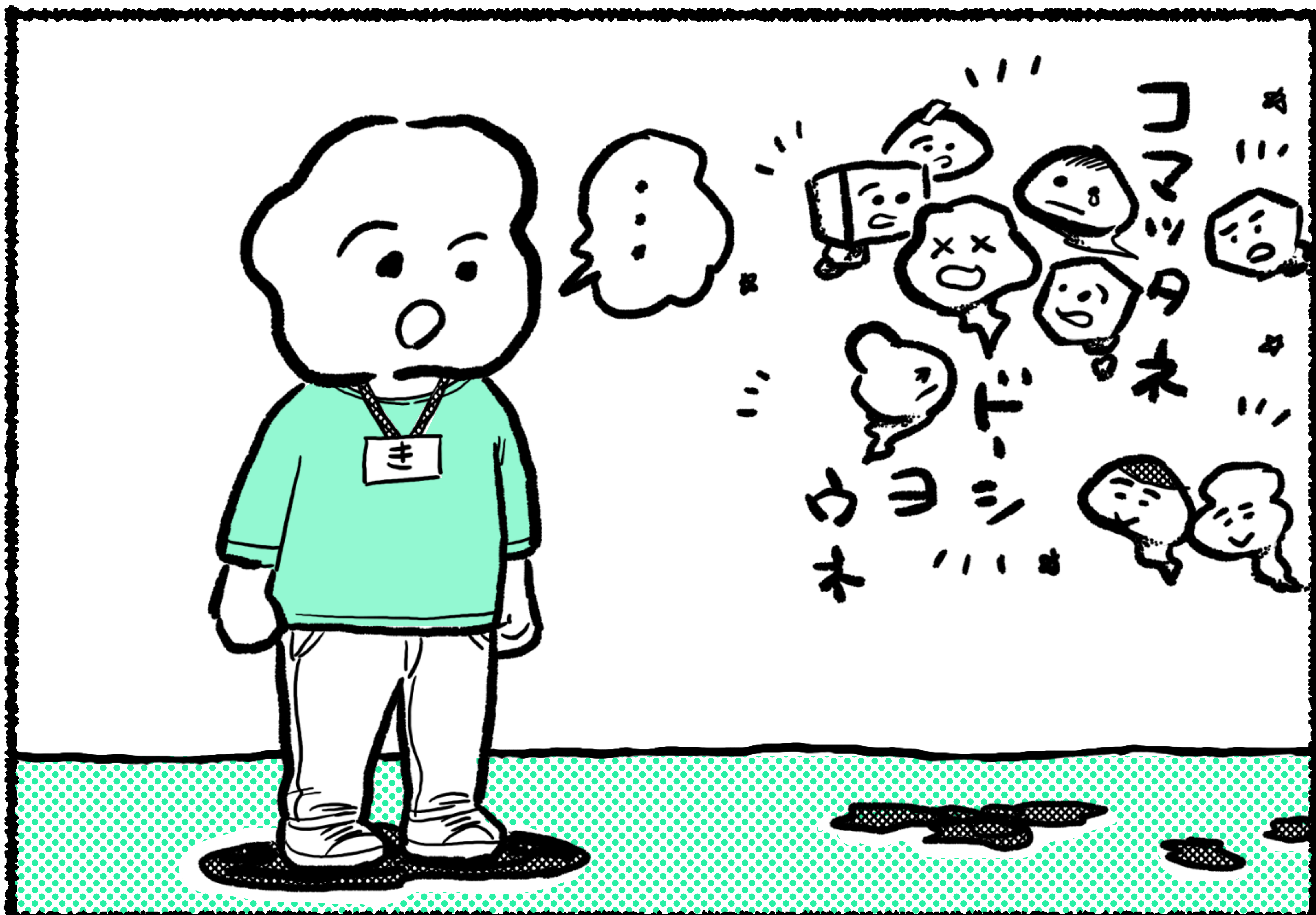


ほんとうに
まずい：



もしかしたら同じ悩みを抱える同志がいるかも

「ジムジム会結成！」





💡 こうして事務局同士の勉強会がはじまりました

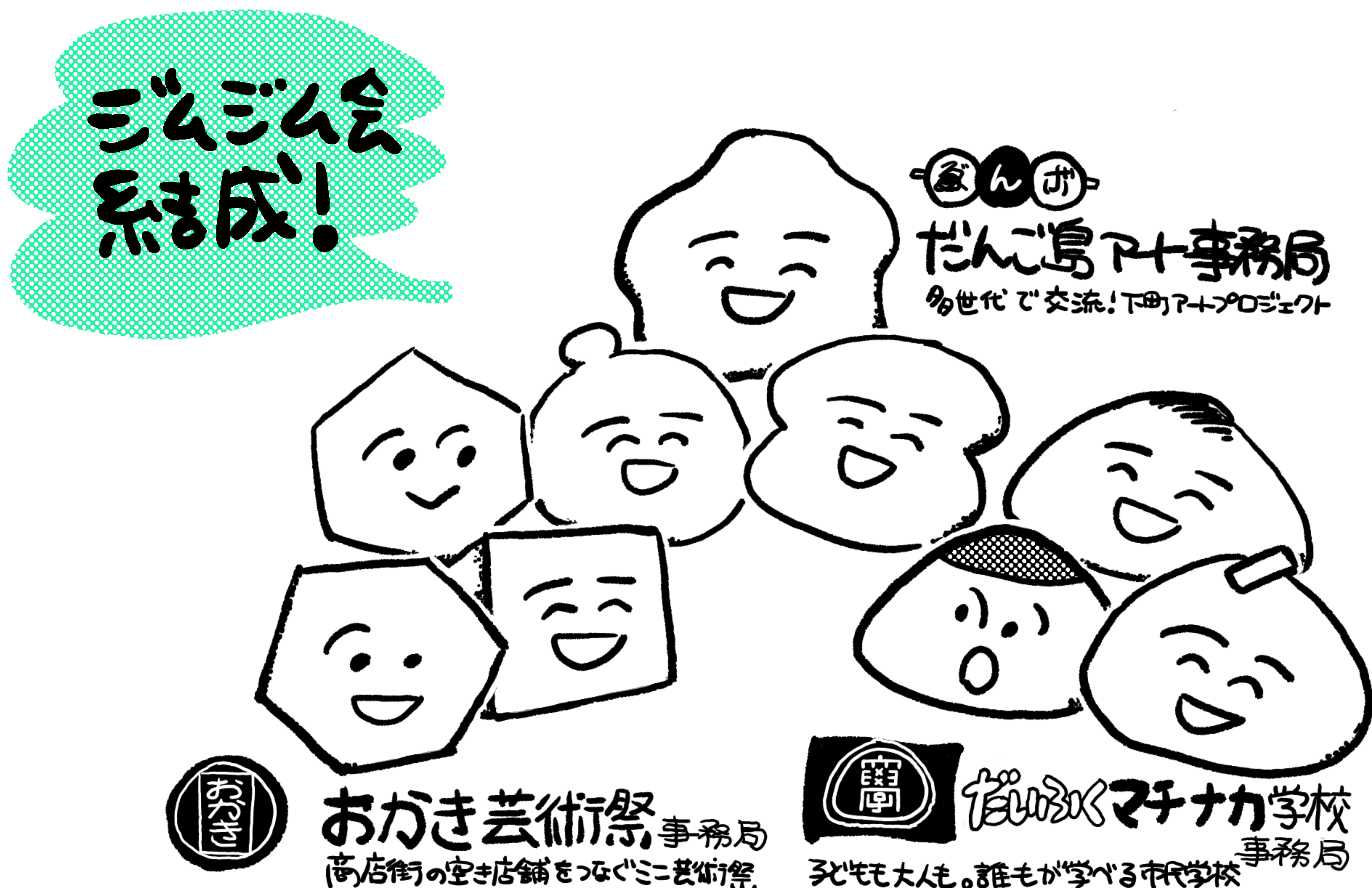
7つのポイント

ジムジム会のひらかた

POINT 1

同じ悩みを持つチームで集まる

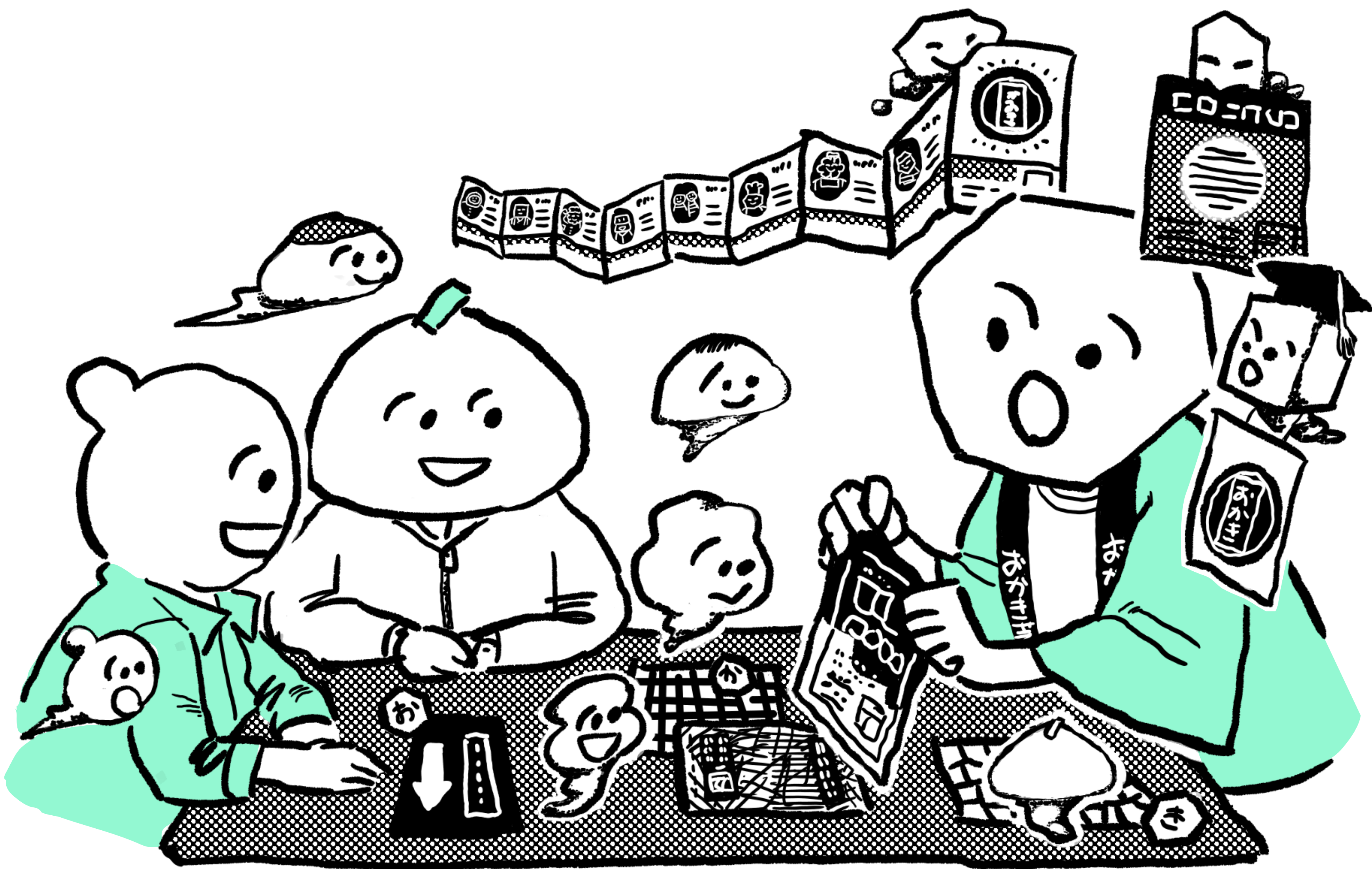
発言しやすい勉強会にするには、悩みや課題を共有しやすいことが重要です。「ふむふむ、ふーん」と傍観する人ではなく、「そうそれ！」と自分事として参加してくれる人の集まりでなくてはなりません。「東京都内でアートプロジェクトを運営する3～5名規模の事務局」など、参加条件を決めてみましょう。またほどよく閉じることで安心して悩みが共有できる場にすることも大切です。



POINT 2

お互いが先生になる

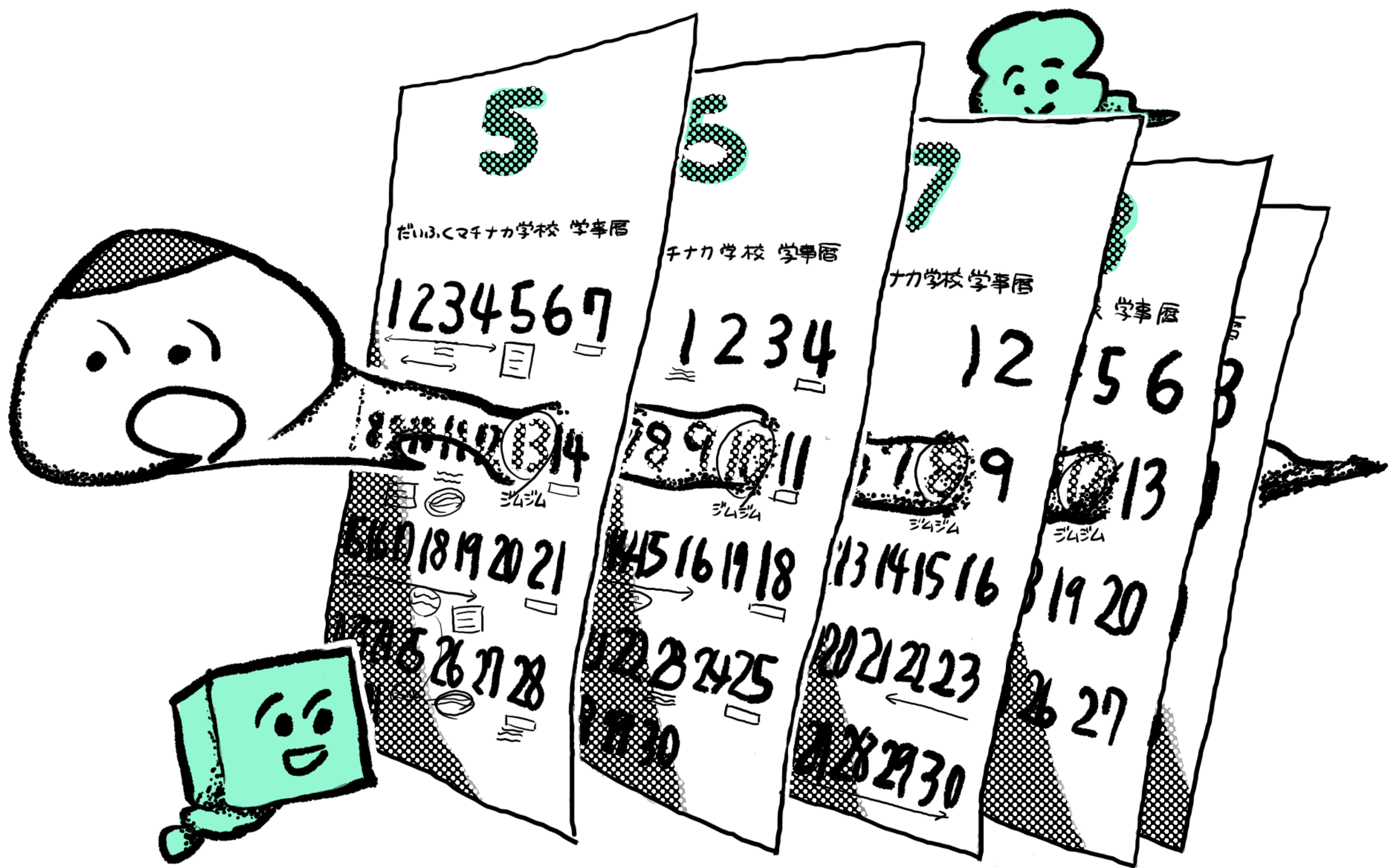
ジムジム会における「先生」は参加者それぞれです。ゲスト講師を呼んで成功事例を聞くよりは、テーマごとにお互いの活動を持ち寄ることがおすすめ。たとえば広報チラシを見せあったり、イベントの進行台本を共有したり、過去の失敗を発表しあうだけでも学びが大きいもの。表には出てこない日頃の事務局活動の勉強会だからこそ、先生もまた事務局からしか生まれません。



POINT 3

定期参加の仕組みをつくる

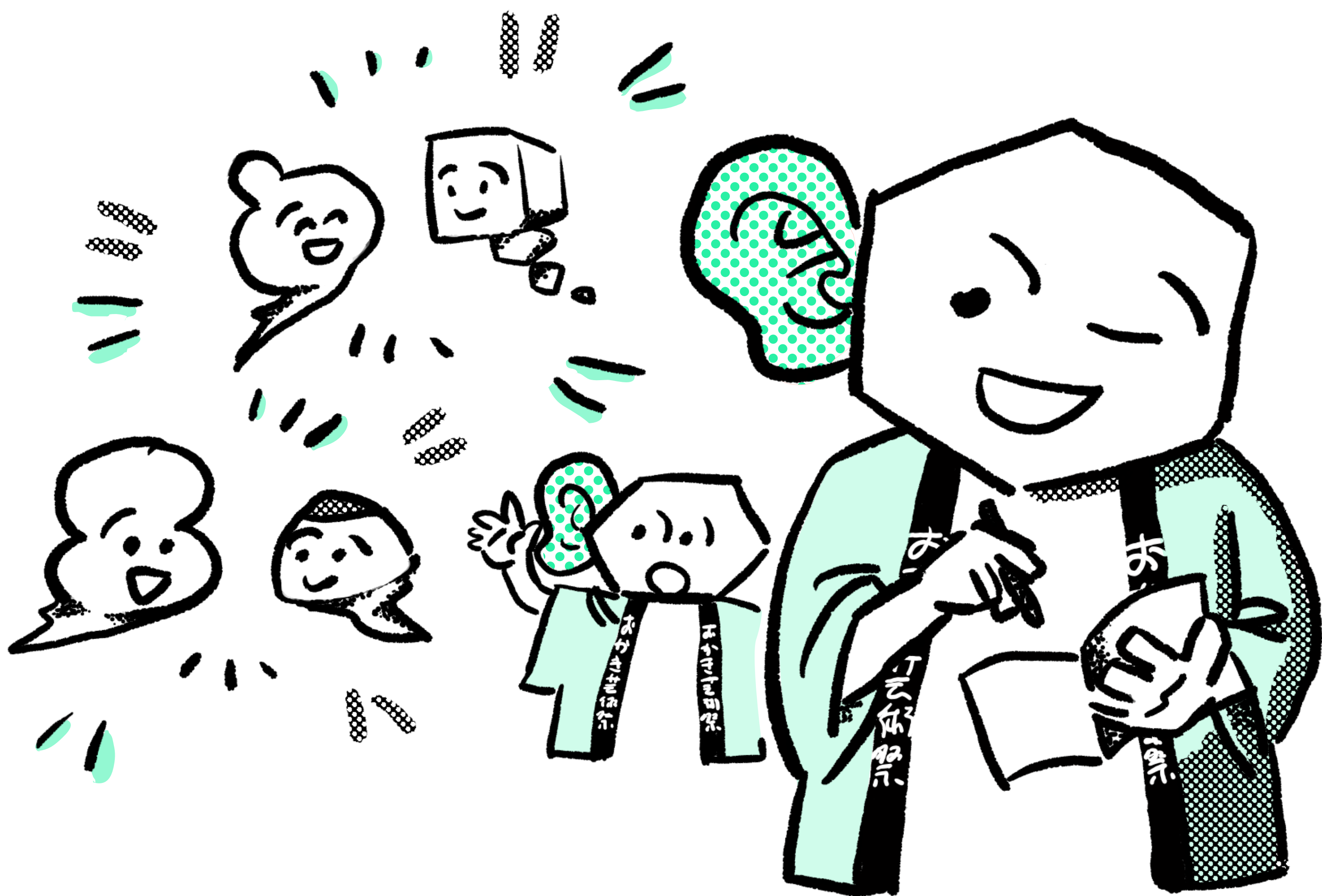
忙しいメンバーにとって勉強会に通い続けるのは難しいもの。そこで「5月～9月まで毎月1回ずつ年5回」など期間を区切り、リズムよく開催するのもおすすめです。各回のテーマはぼんやりしていても、日程だけは最初に全部決めてしまいましょう。また事務局内でもジムジム会をオマケ的に扱うのではなく、大事な仕事として位置づけるとメンバーが参加しやすくなります。



POINT 4

リアルな声に耳をすます

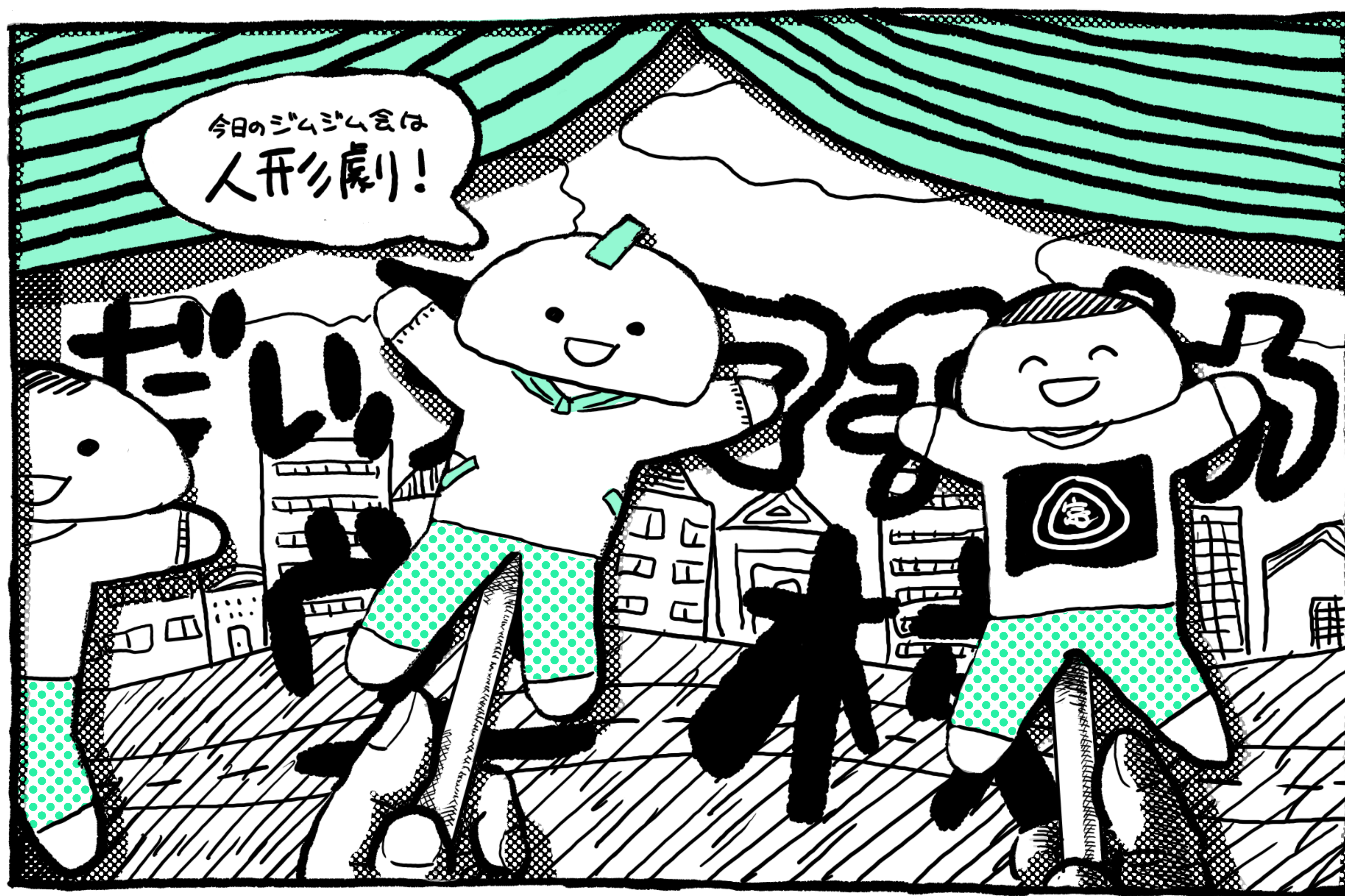
幹事チームの役割は、参加者の悩みや課題がどこにあるのか、よく目を凝らし耳をすましつつ、勉強会を企画すること。先にすべての回のテーマを決めて開催するのもいいですが、開催後のアンケートや勉強会で出た課題から次の回を決める方法もあります。そのためには毎回アンケートを集めることは重要です。リアル開催でもオンライン開催でも「書いたら帰れる」方式にすると声が集まりやすくなりますよ。



POINT 5

マンネリに注意する

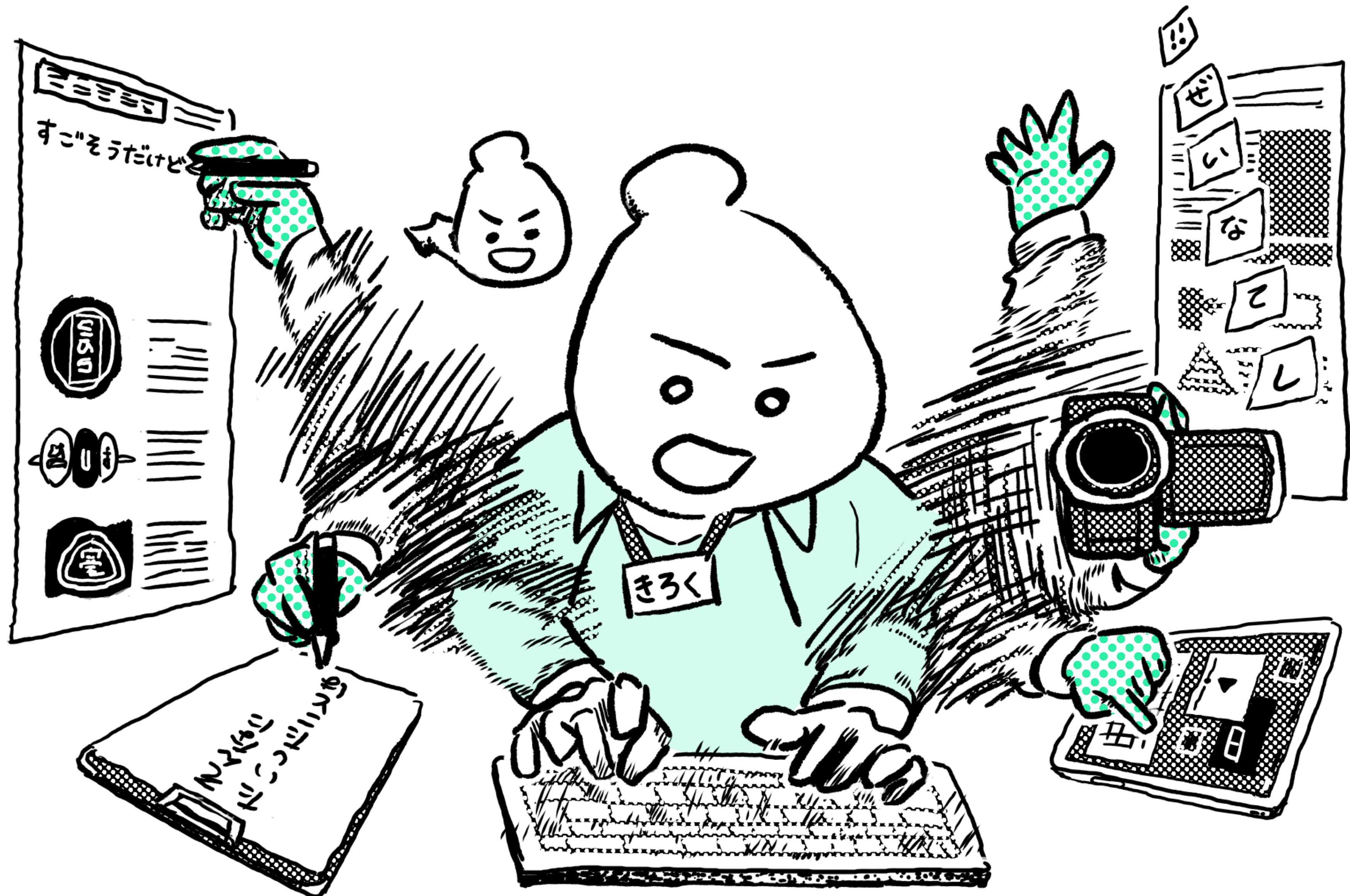
学びの大敵はマンネリです。特にアートプロジェクト事務局の人達はイベント運営に慣れているので、勉強会自体がつまらないとモチベーションも下がってしまいます。実際のジムジム会では書き初め、ラジオ形式の進行、参加者間での指名質問会など、運営方法を毎回変えてみました。勉強会運営自体もひとつの実験。それを一緒に面白がれるのは「事務局の集い」という稀有な場だからこそ。



POINT 6

記録と共有は丁寧に

地味ですが大切なのは、毎回の記録の残し方です。どうしても参加できない人はいるので、継続参加のためにも丁寧な情報共有が欠かせません。レポート記事、当日の動画収録、リアルタイム議事録、グラフィックレコーディング、写真、資料、アンケート結果など、終了後すぐに共有すること。抜け漏れのないように幹事チームの中で記録担当を決めるのがおすすめです。

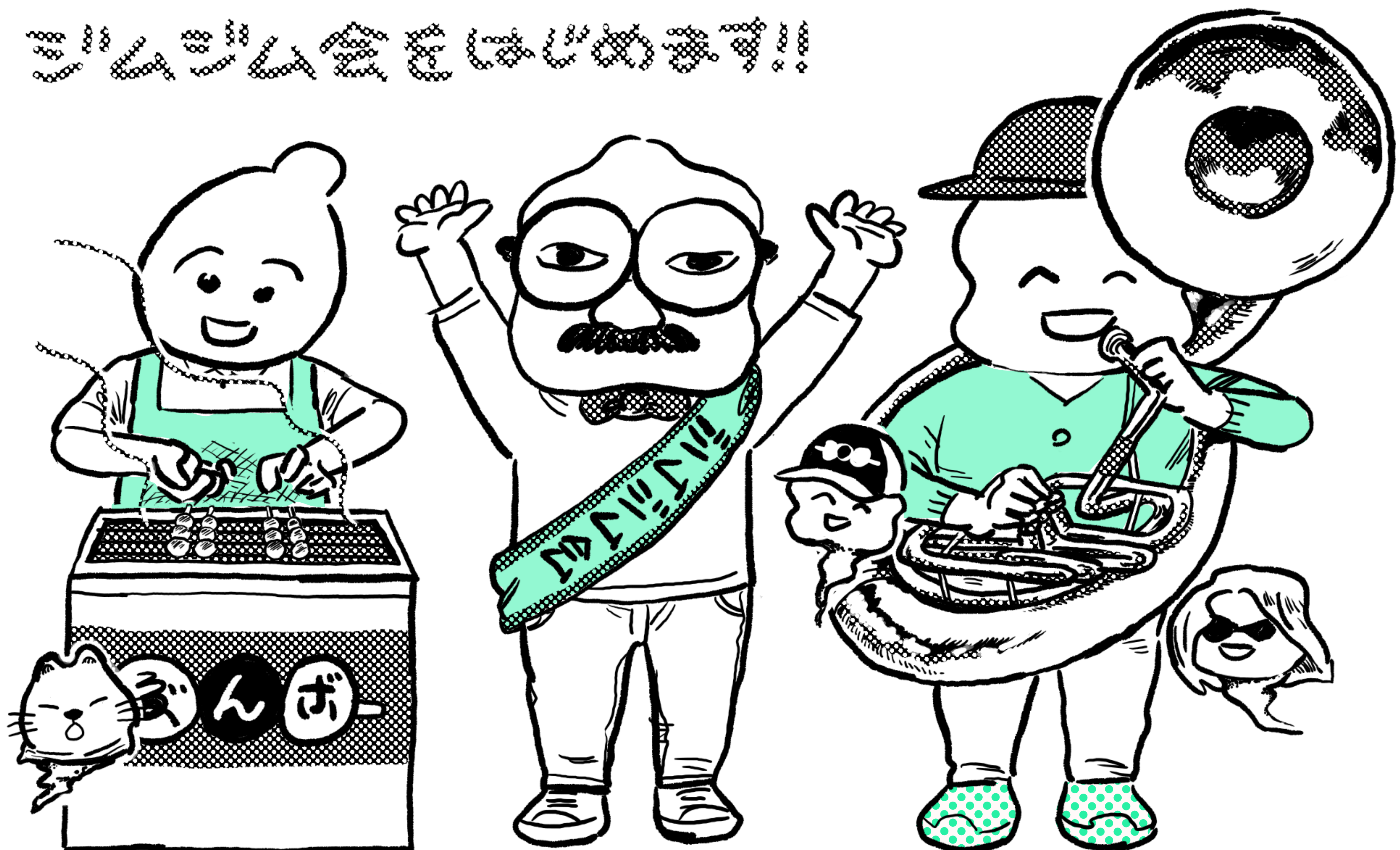


POINT 7

幹事が率先して楽しむ

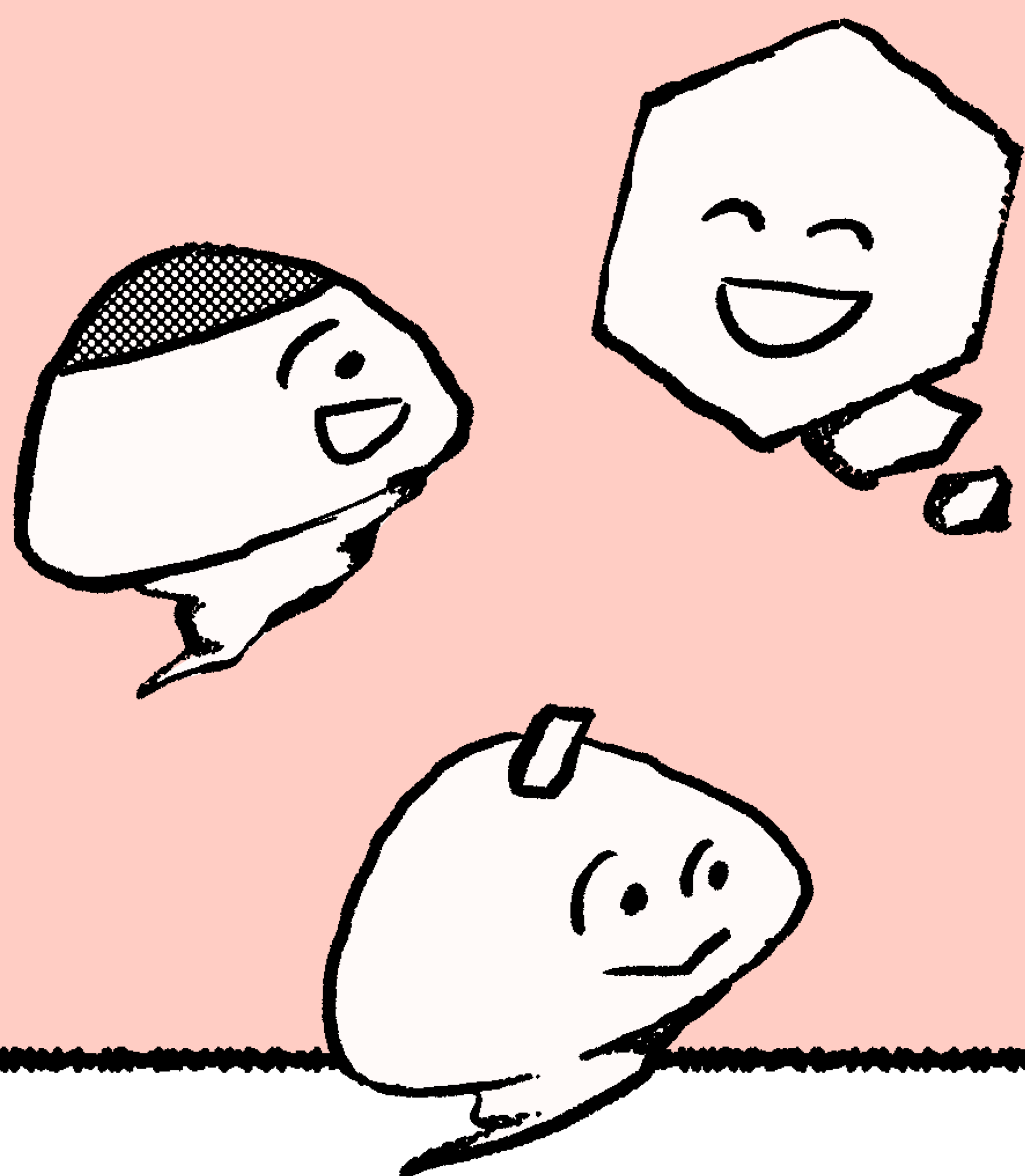
最後に一番の秘訣を。学びの場が楽しくなるかどうかは、運営している人が楽しんでいるかどうかにかかっています。ということで、幹事チームは常に自分達も楽しめるよう運営すること。隙間時間に好きな音楽をかけるもよし、会場のしつらえやグループ分けに凝ってみるのもよし、美味しいおやつを用意するのもいいですね。ジムジム会は「事務局のため」の勉強会です。ぜひ幹事も楽しんでください！

ジムジム会をはじめます!!

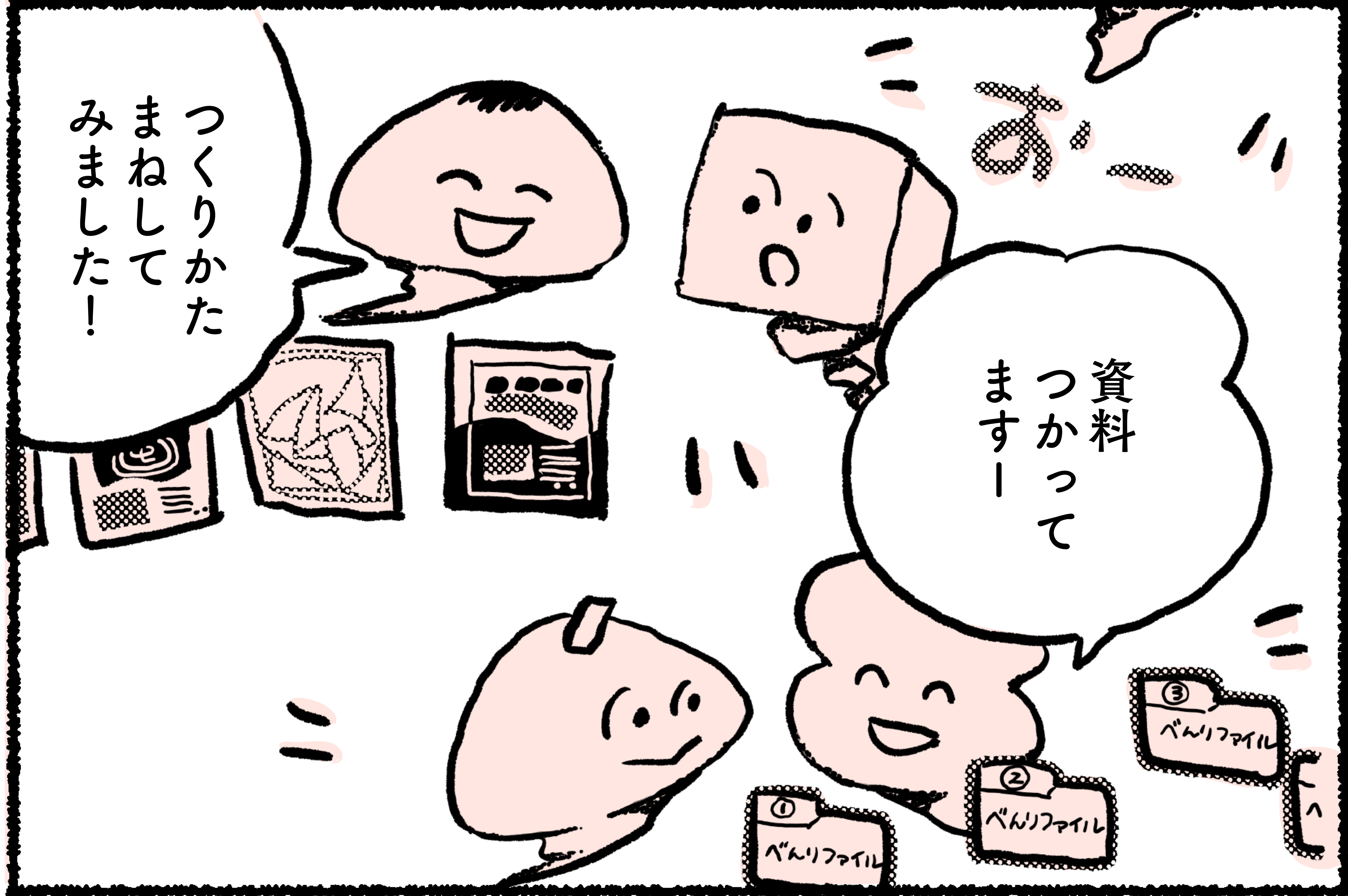
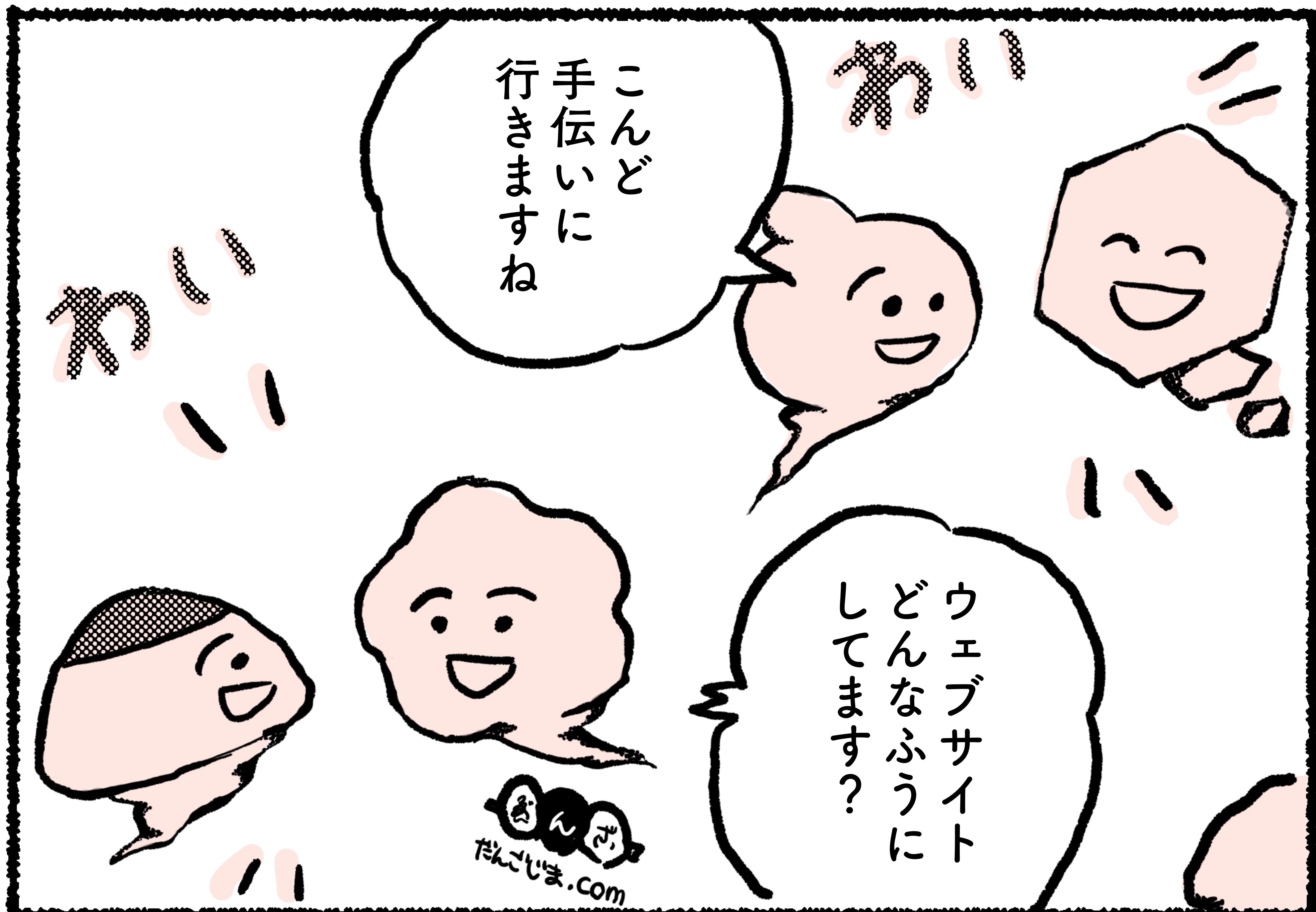


まんが

ジムジム会ができたあと



「孤独じゃない」

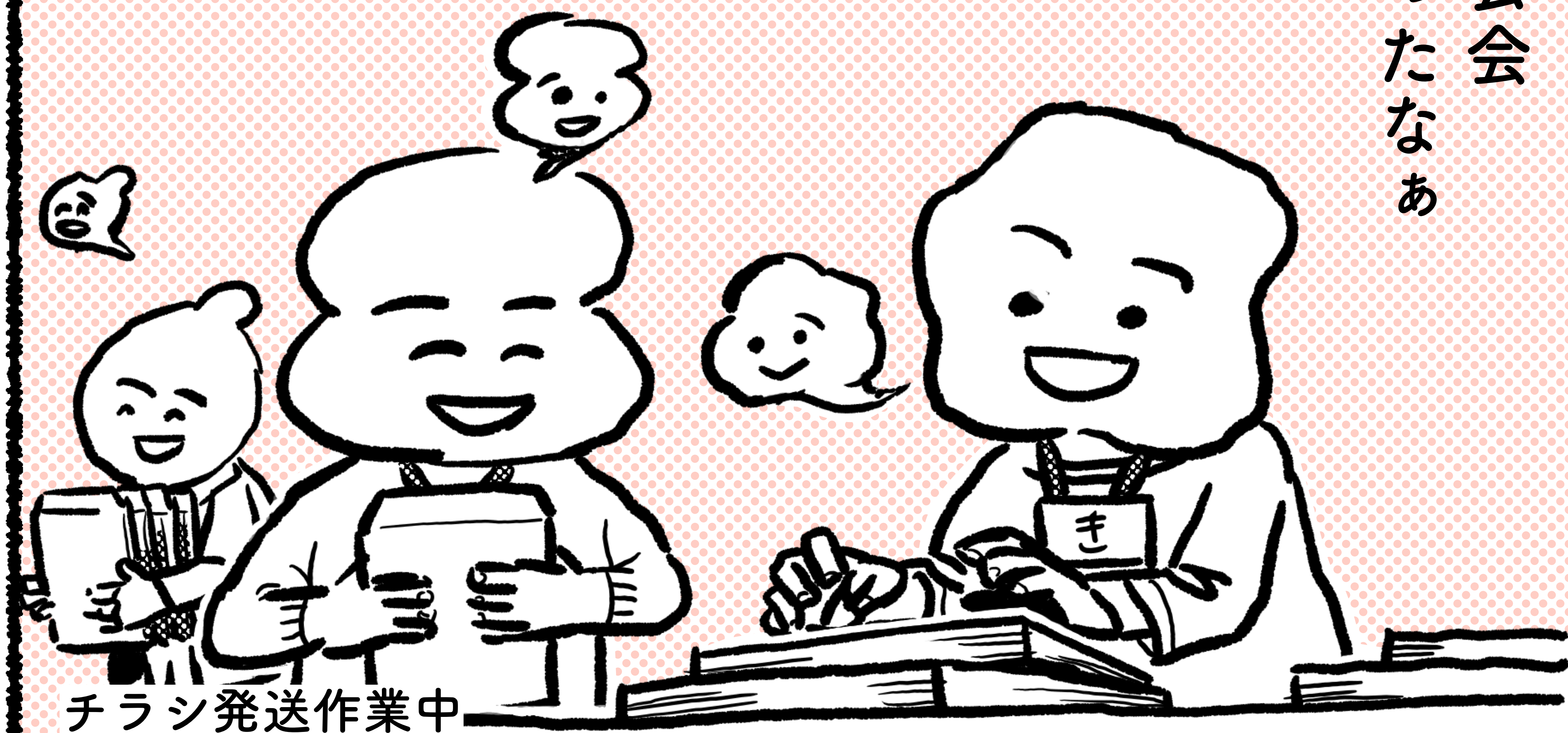




🗣️ 交流ができたことで普段の活動もサポートしあうように

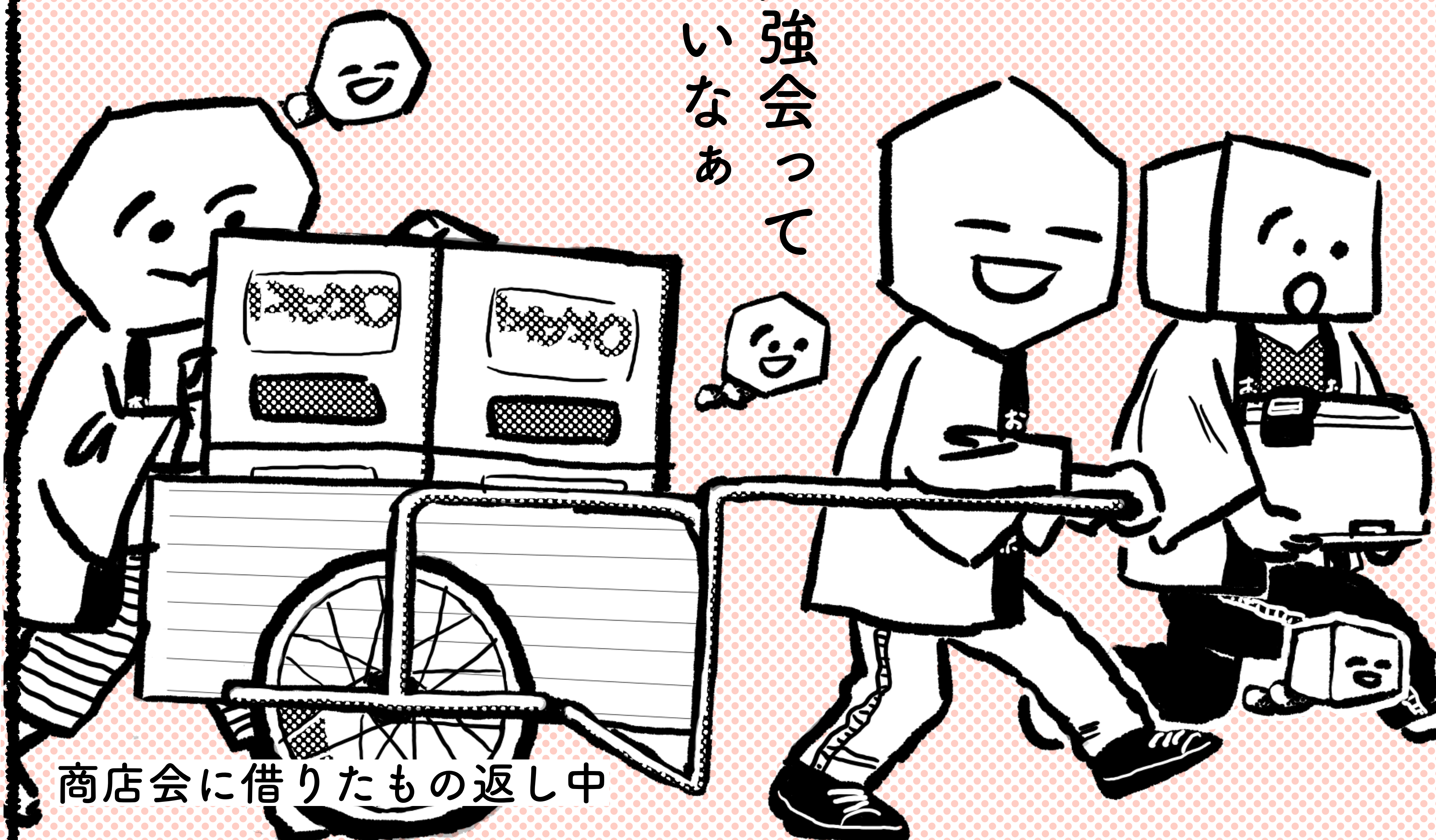
「その後のジムジム会」

ジムジム会
楽しかったなあ



チラシ発送作業中

勉強会って
いいなあ



商店会に借りたものの返し中

またあつまりたいなあ

卒業式

たいはくマチナカ学校

イベント準備中

：こんどは
幹事して
みようかな？

いいね！

てっだらよー

となりまちの
あられアート
プロジェクトは
もさをぶっ！

あ ら れ
なにそれきになります

実際のジムジム会も持ち回り幹事で続いています

おわりに

時間がない、人手がない、やりかたがわからない！「ないないだらけ」の忙しい現場を抱える事務局のメンバーが、自分達と似たような事務局と集まり、少しずつ悩みを解きほぐしていったジムジム会。

冒頭で困りに困っていた「だんご島アートプロジェクト」事務局の3人組は、「おかき芸術祭」や「だいふくマチナカ学校」の事務局メンバーと出会って学び、少し前進できたようです。よかったですね。

そして「ジムジム会をやってみたい！」という気持ちになった方は、ぜひ実際に開催された東京アートポイント計画のジムジム会レポート記事もご覧ください。今回ご紹介した7つのポイントを押さえつつ、より具体的な勉強会の様子や開催方法をお届けしています。また、次のページにはジムジム会の開催一覧も掲載しますので、テーマなどの参考にしていただけたら幸いです。

> 東京アートポイント計画 ジムジム会のレポート [note]

<https://note.tokyoartpoint.jp/m/mc6e4ac7aa1df>

東京アートポイント計画

ジムジム会 開催一覧

2019年度

#01

〔テーマ〕 “広報”をやめる／
ウェブサイトのつくりかた・つかいかた
〔開催日〕 2019年9月20日
〔発表〕 小金井アートフル・アクション！、
Tokyo Art Research Lab
東京プロジェクトスタディ

#02

〔テーマ〕 リズムを刻む／
定期レターのつくりかた・つかいかた
〔開催日〕 2019年10月16日
〔ゲスト〕 加藤甫(写真家)
〔発表〕 アートアクセスあだち 音まち千住の縁、
ファンタジア！ファンタジア！
ー生き方がかたちになったまちー

#03

〔テーマ〕 打って出る／
NPOの届けかた・つなぎかた
〔開催日〕 2019年11月22日
〔ゲスト〕 入谷佐知(認定NPO 法人D×P)

#04

〔テーマ〕 手段を選ぶ／
SNSのつかいかた・つづけかた
〔開催日〕 2019年12月18日
〔ゲスト〕 モリジュンヤ(株式会社インクワイア)
〔発表〕 500年のcommonを考えるプロジェクト
「YATO」、HAPPY TURN／神津島

#05

〔テーマ〕 編み集める／本のつくりかた・つかいかた
〔開催日〕 2020年1月8日
〔ゲスト〕 川村庸子(編集者)
〔発表〕 AHA! [Archive for Human Activities/
人類の営みのためのアーカイブ]、
10年を伝えるための101日

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
会場：アーツカウンシル東京 ROOM302
運営：きてん企画室 記録：宮崎有里

2020年度

#01

〔テーマ〕 集えない状況でどう集う？
各アートプロジェクトの
状況を共有しよう
〔開催日〕 2020年5月13日
〔発表〕 アートアクセスあだち 音まち千住の縁、
ファンタジア！ファンタジア！
ー生き方がかたちになったまちー

#02

〔テーマ〕 あの手この手で繋がるには？
コロナ状況下での
アートプロジェクトを考える
〔開催日〕 2020年6月17日
〔発表〕 小金井アートフル・アクション！、
HAPPY TURN／神津島

#03

〔テーマ〕 アートプロジェクトの再始動。
新たな日常でどうはじめる？
〔開催日〕 2020年7月20日
〔発表〕 500年のcommonを考えるプロジェクト
「YATO」、東京で(国)境をこえる、
TERATOTERA

#04

〔テーマ〕 今だからできること、わかること。
アートプロジェクトの知恵を持ち寄る
〔開催日〕 2020年8月19日
〔発表〕 移動する中心 | GAYA、
Artist Collective Fuchu [ACF]、
Art Support Tohoku-Tokyo

#05

〔テーマ〕 困ったら、お互いに聞いてみる。
助け合う場を続けていこう
〔開催日〕 2020年9月22日

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
会場：オンライン 運営：きてん企画室 記録：宮崎有里
配信協力：いわさわたかし(岩沢兄弟)

事務局による事務局のためのジムのような勉強会 ジムジム会のひらきかた

2021年3月15日発行

まんが | 宮田篤

デザイン | 吉村雄大

企画編集 | 中田一会(きてん企画室)

プログラムオフィサー | 大内伸輔、村上愛佳(アーツカウンシル東京)

発行

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

〒102-0073

東京都千代田区九段北 4丁目 1-28九段ファーストプレイス 8階

TEL 03-6256-8435 / FAX 03-6256-8829

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>

※本データはTokyo Art Research Lab
「プロジェクトをつくるプロジェクト」の
一環として制作されました。

